

Printia *≈ LASER*

FUJITSU PERSONAL COMPUTER PRINTER

XL-1200 ページプリンタ

取扱説明書

製品を安全に使用していただくために

本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。

特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。

本書はお読みにになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

IBM PC/AT 互換機は、米国 International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

製品を安全に使用していただくために

VCCI 適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて

この装置は、国際エネルギースタープログラムの基準に適合しております。
国際エネルギースタープログラムはコンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムはエネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。

対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

はじめに

このたびは、弊社のページプリンタXL-1200をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本書では、プリンタの設置や取り扱いに関することがらと、プリンタドライバなどのソフトウェアに関することがらについて説明しています。

本書にしたがって正しい取り扱いをし、本プリンタを有効にご利用ください。

2000年4月

本文中の略語について

Microsoft® Windows® 98 operating system は、本文中では Windows 98 と表記しています。

Microsoft® Windows® 95 operating system は、本文中では Windows 95 と表記しています。

Microsoft® Windows® operating system Version 3.1 は、本文中では Windows 3.1 と表記しています。

Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 および Microsoft® Windows NT® Server operating system Version 4.0 は、本文中では Windows NT4.0 と表記しています。

Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 3.51 および Microsoft® Windows NT® Server operating system Version 3.51 は、本文中では Windows NT3.51 と表記しています。



Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 3.5 および Microsoft® Windows NT® Server operating system Version 3.5 は、本文中では Windows NT3.5 と表記しています。




Microsoft® Windows® 2000 Professional および Microsoft® Windows® 2000 Server は、本文中では Windows 2000 と表記しています。

はじめに

警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

 警告	 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	で示した記号は、警告、注意を促す事項があることを告げるものです。 記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。 記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意



プリンタ設置および移動時のご注意



プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災・故障の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。

感電・火災・故障の原因となります。

電源プラグは、交流 100V、15A 専用コンセント以外には差し込まないでください。

たこ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。本定格電源は 100V、6A となっています。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。

火災の原因となります。

延長コードは、定格 (125V、15A) 未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。

異常な発熱や火災の原因となります。

安全上のご注意



次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- ・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります。）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

梱包に使用しているビニール袋はお子さまが口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。

窒息の原因となります。



風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。

感電・火災の原因となります。



電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。アース接続できない場合は、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

- ・電源コンセントのアース線
- ・銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- ・接地工事（第3種）を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、火災・感電の原因となります。



プリンタケーブルおよびオプション製品の取り付け／取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

火災や感電または故障の原因となります。



近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。

入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。

⚠ 注意



直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によりカバーなどが加熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災・故障の原因となることがあります。

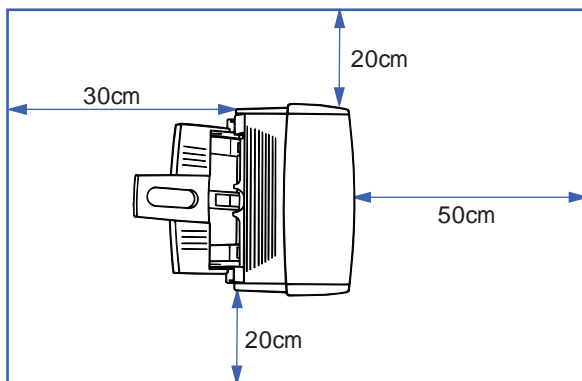
プリンタに空調などの風が直接当たらない場所に設置してください。

風が当たると、プリンタ内部の空気の流れが変わり、火災・故障の原因となることがあります。

プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

また、設置時は、プリンタの足全体が乗る大きさの平らな場所に置いてください。

スペースが確保されないと、熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。



プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

安全上のご注意



振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタは、プリンタの重量に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、プリンタを傾けないでください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。



プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。

作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタ使用時のご注意



警告



プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。

火災・感電・故障の原因となります。

開口部(通風口など)から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電・故障の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工しないでください。

重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると、電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用しますと、火災・感電の原因となります。修理はお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。



異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。
故障の修理は、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。
火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



ネジで固定されているカバーやパネルなどは、絶対に開けないでください。
内部の点検、修理はお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。
そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したコネクタカバー等は、小さなお子さまが誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



万一、プリンタから発熱や煙、異臭や異音などが発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が消えるのを確認して、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターに修理をご依頼ください。お客さま自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

安全上のご注意



万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



注意



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っばると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、火災の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があります、けがの原因となることがあります。



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。

紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理にとらないで、直ちに電源を切り、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。



つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。

けがの原因となることがあります。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。

1 カ月に一度はプリンタの電源を切り、次のような点検をしてください。

- ・ 電源プラグが電源コンセントにしっかり差しこまれていますか。
- ・ 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
- ・ 電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- ・ 電源コードにき裂や擦り傷などはありませんか。
- ・ アース線は取り付けられていますか。

なお、異常がある場合はお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターまでご連絡ください。



長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、感電の原因となることがあります。



用紙排出部のローラーが作動しているとき作動部には触れないでください。指をはさみけがをする原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合には、定着器周辺は、電源スイッチを切ってから 1 時間は手を触れないでください。

高温になっているため、やけどの原因となることがあります。

安全上のご注意

プロセスカートリッジ/トナーカートリッジの取り扱い上のご注意



警告



プロセスカートリッジやトナーカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。
使用済みの プロセスカートリッジやトナーカートリッジは、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。



トナーは目や口に入らないように注意してください。

プロセスカートリッジやトナーカートリッジの交換時などに、トナーが手に付いた場合は速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



プロセスカートリッジやトナーカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さいお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



注意



プロセスカートリッジ・トナーカートリッジは純正品を使用してください。
純正品以外のプロセスカートリッジまたはトナーカートリッジを使用すると、感光ドラムやプリンタ本体に障害が発生することがあります。

目次

1. お使いになる前に	4
製品の確認	4
XL-1200の特長	5
プリンタ各部の名前	6
2. プリンタを設置します	8
設置条件	8
用紙フィーダを取り付ける	10
トナーカートリッジを取り付ける	11
電源コードを接続する	15
電源を入れる	16
3. 用紙をセットします	18
用紙フィーダにセットする	18
手差し口にセットする	19
ハガキガイドにセットする	20
用紙の排出	22
4. Windows 98/95/NT4.0/2000から印刷します	24
5. メンテナンスをします	36
トナーカートリッジを交換する	36
プロセスカートリッジを交換する	38
プリンタを清掃する	40
クリーニングページ	41
6. 困ったときには	42
紙づまりが起こったとき	42
用紙送りに異常がでるとき	43
印刷が不鮮明なとき	44
故障かな？と思ったとき	46
ソフトウェアの問題	48

付録・詳しい内容	50
Windows 98/95/NT4.0/2000プリンタソフトウェアについて	50
印刷可能領域について	63
自動低解像度印刷について	63
印刷精度について	63
用紙厚の調整について	64
LEDランプ表示について	64
用紙について	65
サプライ用品	67
プリンタを輸送するとき	69
使用済みプロセスカートリッジ・トナーカートリッジの回収について	69
プリンタの仕様	70
インタフェースの仕様	71
保守・サービス	72
サプライ用品担当窓口一覧	73
修理・サービス網一覧	75

本書での説明のマーク



プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。誤った操作をしないため、必ずお読みください。



プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。お読みになることをお勧めします。



メモ用のページです。

1. お使いになる前に

1

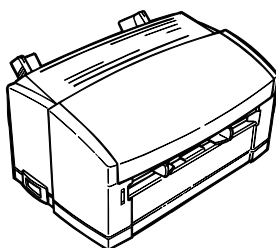
製品の確認

梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。

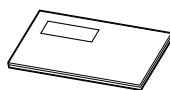


本プリンタには、パソコン本体とのプリンタ接続ケーブルは添付されていません。パソコン本体のケーブルか、別売りのプリンタ接続ケーブルをお使いください。

1. プリンタ本体



2. 保証書（梱包箱に添付）

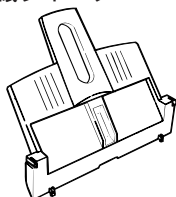


添付品パック

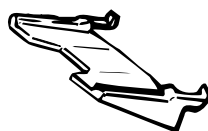
3. 取扱説明書（本書）



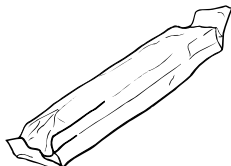
4. 用紙フィーダ



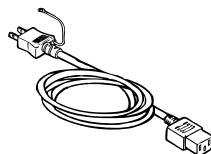
5. ハガキガイド



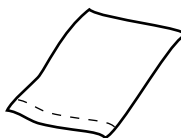
6. トナーカートリッジ



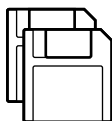
7. 電源コード



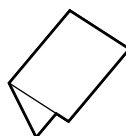
8. ポリエチレン袋（黒）



9. プリンタドライバディスク（2枚）



10. 用紙について



- ・ プリンタ本体には、プロセスカートリッジがセットされています。
- ・ ポリエチレン袋（黒）および梱包箱、緩衝材は、プリンタを輸送するときに必要です。捨てずに保管してください。

XL-1200 の特長

1

小型・軽量、低ランニングコスト、省電力、オゾンフリー

8枚/分(A4コピーモード)クラスでは最小の省スペース設計で、デスクサイドにゆうゆう置けるコンパクトなサイズです。また、交換時期の異なるトナーとプロセスカートリッジを別ユニットにすることで廃棄物を最小限に抑えるなど、地球環境の保全に十分配慮しています。その他、待機時の電力消費を抑える節電モードやオゾンフリープロセスなど、使う人に優しい設計になっています。

すべての操作をパソコンから

面倒なプリンタの操作パネルでの設定などは一切ありません。すべての設定はパソコンから行います。

8枚/分(A4)、600dpiの高品位印刷

オフィスでもっとも需要の高いA4サイズを毎分8枚(コピーモード時/ハガキ、OHPシート、ラベル紙を除く)と、快適なスピードで印刷します。しかも解像度は600dpiで高品位出力を実現。文字も図形も美しく鮮明です。

WYSIWYGをお手元に。Windows 98/95/NT4.0/2000 日本語版 環境に対応

各OSのプリンタドライバを標準添付し、Windows搭載のパソコンに幅広く対応しています。また、WYSIWYG*も実現しました。

多彩な給紙機能

世界最小クラスの大きさながら、用紙フィーダによる100枚(55Kg紙)の連続給紙を標準サポートしています。A4～A5まで幅広い用紙サイズに対応するユニバーサル方式を採用し、手差し給紙によるフリーサイズ、ハガキ、OHPシート、ラベル紙への印刷も可能になっています。

自動低解像度印刷

プリンタ標準搭載のメモリでは印刷できない複雑なファイルも、オートマティックフォールドダウン機能により自動的にプリンタの解像度を下げて印刷します。

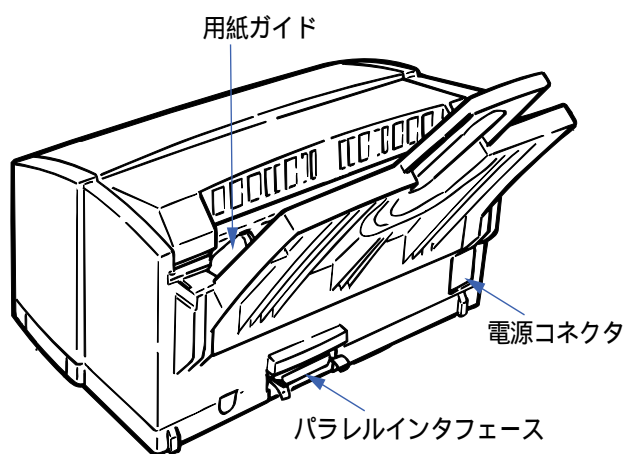
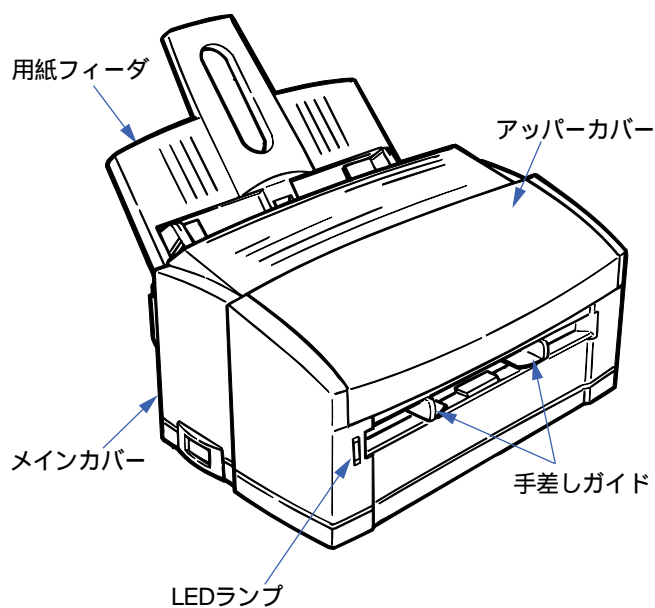
*WYSIWYG What You See Is What You Getの略。コンピュータの画面上で作成した通りの印刷出力を手に行うことができるというデスクトップパブリッシングの基本要素。

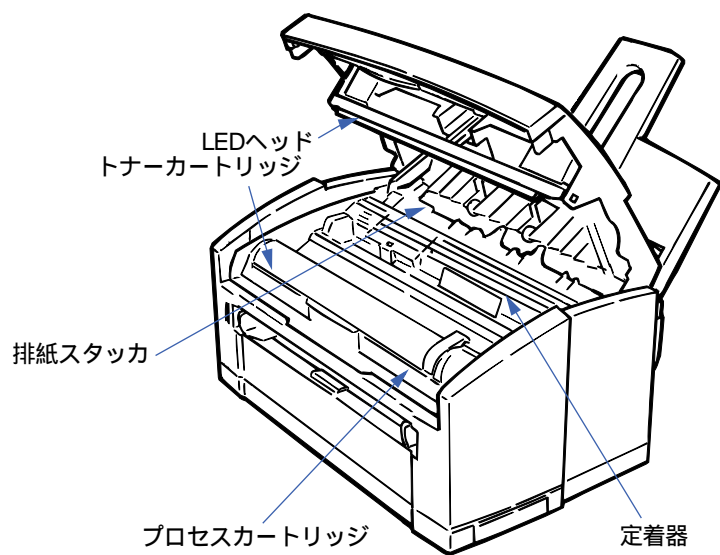
5

お使いになる前に

プリンタ各部の名前

1





2. プリンタを設置します

設置条件

動作環境

- ・ 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。

周囲温度 10 ~ 32

周囲湿度 20 ~ 80%RH (相対湿度)

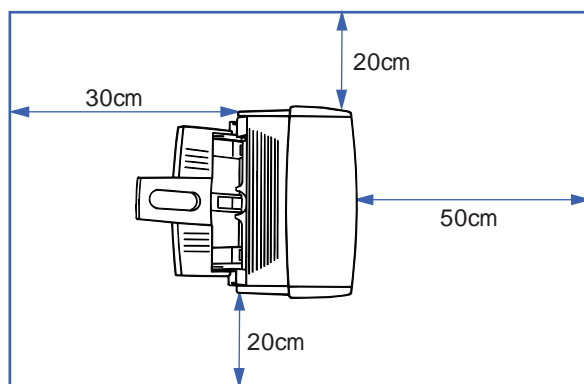
- ・ 結露しないようご注意ください。
- ・ 周囲湿度が30%以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどをご使用ください。

設置に関する注意

- ・ 結露したときは、プリンタが周囲の温度になじむまで1時間程度放置してから電源を入れてください。
- ・ 直射日光が当たらないようにしてください。
- ・ 通気性、換気のよい場所でご使用ください。火気の近くや高温、多湿な場所への設置はさけてください。
- ・ 振動が多い場所への設置はさけてください。
- ・ ほこり、潮風、腐食性ガスをさけてください。また、化学反応を起こすような場所（実験室など）には、設置しないでください。
- ・ 強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。静電気をさけてください。
- ・ コードがプリンタの下になったり、引っ張られたりしないようご注意ください。また、電源コードが踏まれない場所に設置してください。
- ・ 用紙排出口は、プリンタの通風口にもなっています。この部分をふさいだり、外部から風が当たる場所には、プリンタを設置しないでください。プリンタ内部の空気の流れが変わり、内部が高温になり故障の原因となることがあります。

設置スペース

プリンタの足が全部のる大きさの、平らな机の上に置いてください。
プリンタのまわりに十分スペースをとって設置してください。

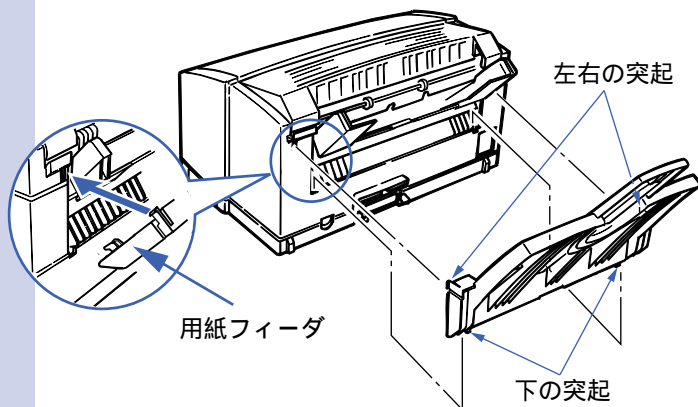


プリンタは、傾きが 2° 以下となるように、平坦なところに設置してください。印刷がかすれるなどの印刷不良の原因となります。

プリンタを設置します

用紙フィーダを取り付ける

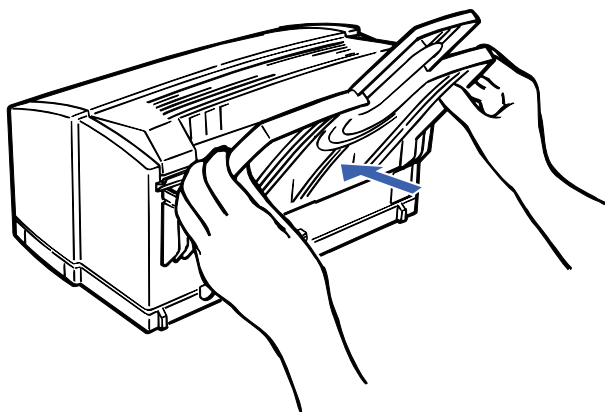
1. 用紙フィーダの突起をプリンタに合わせます。



用紙フィーダの下の突起（左右2ヶ所）をプリンタ背面の溝に合わせます。

用紙フィーダの左右の突起をプリンタの左右の溝に合わせます。

2. 用紙フィーダを押して、固定します。



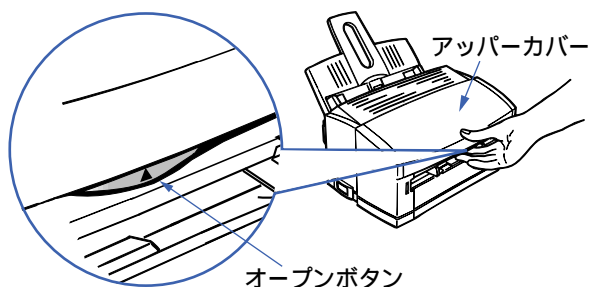
用紙フィーダを矢印方向に押すと、左右の突起がロックされ、用紙フィーダが固定されます。



用紙フィーダを固定しづらい場合は、左右の突起を押しながら用紙フィーダを奥に差し込んでください。また、用紙フィーダを外す場合は、左右の突起を押してロックを外してください。

トナーカートリッジを取り付ける

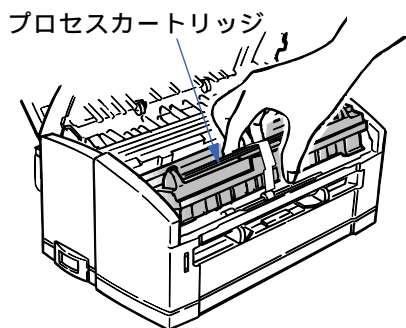
1. アッパーカバーを開けます。



アッパーカバーの前面下部のオープンボタンを上へ軽く押し上げます。

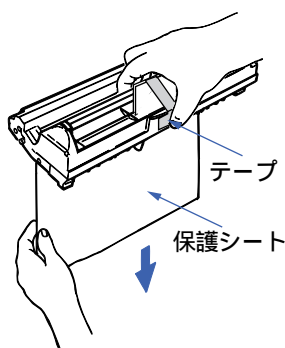
2

2. プロセスカートリッジを取り出します。



プロセスカートリッジの中央付近を持ち、手前側を引き上げてロックを外します。

手前側を上にして、静かに取り出します。



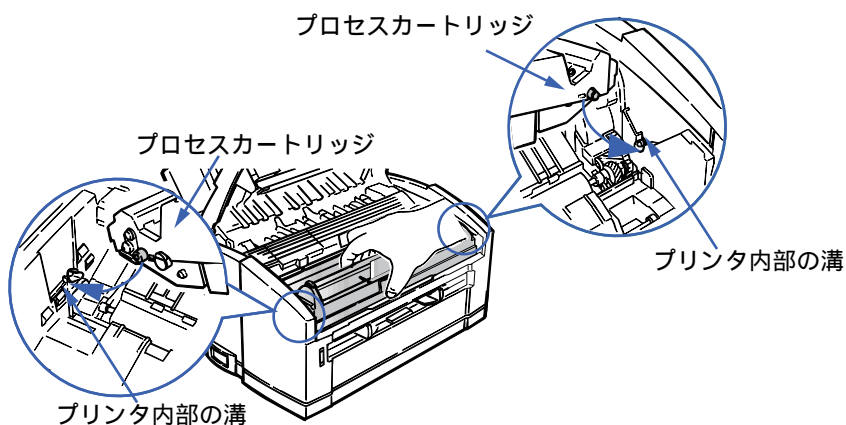
白いテープをはがし、保護シートを引き抜きます。



- ・感光ドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- ・プロセスカートリッジを直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分以上放置しないでください。

プリンタを設置します

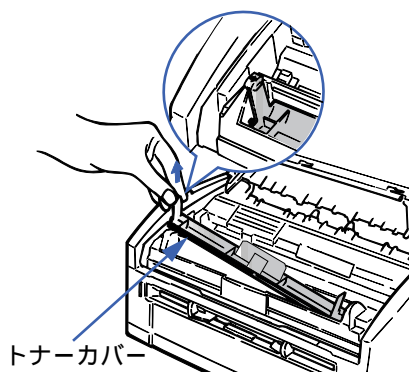
3. プロセスカートリッジをセットします。



プロセスカートリッジの両側にある突起をプリンタ内部の溝に合わせて挿入します。

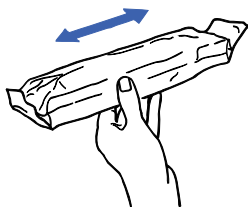
プロセスカートリッジの両端を下方方向に押します。
カチッと音がして固定されます。

トナーカバーを左側からゆっくりと取り外します。



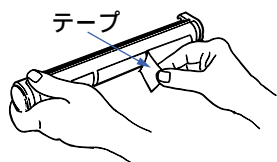
4.

トナーカートリッジを用意します。



新しいトナーカートリッジを、左右に数回振ります。

包装袋からトナーカートリッジを取り出します。

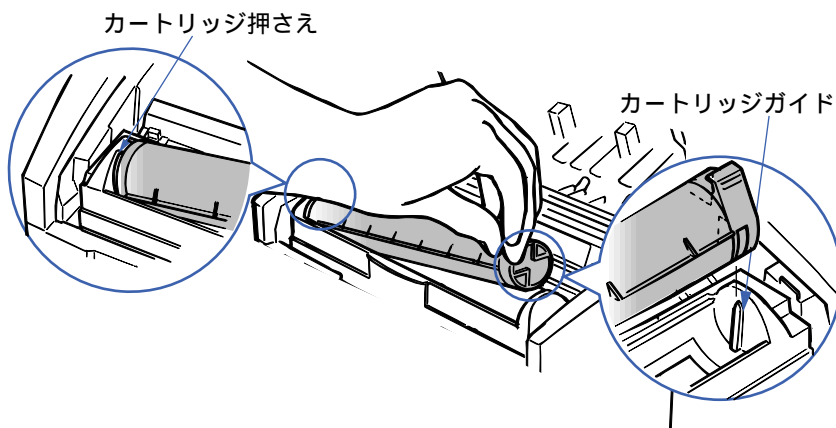


トナーカートリッジを水平にして、白いテープをゆっくりとはがします。

2

5.

トナーカートリッジをセットします。



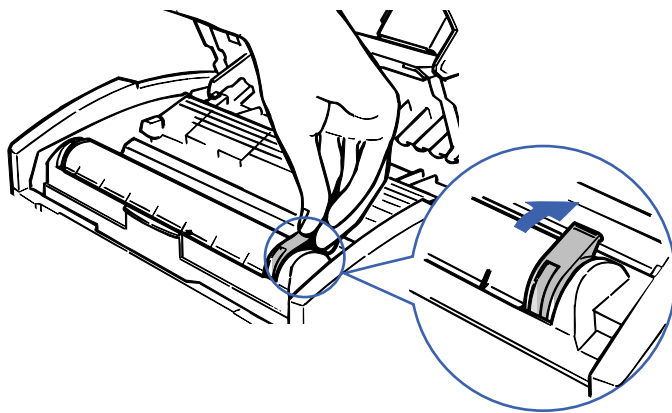
テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジをカートリッジ押さえの下に入れます。

右側の溝をプロセスカートリッジのカートリッジガイドに合わせ、しっかりと押し込みます。

プリンタを設置します

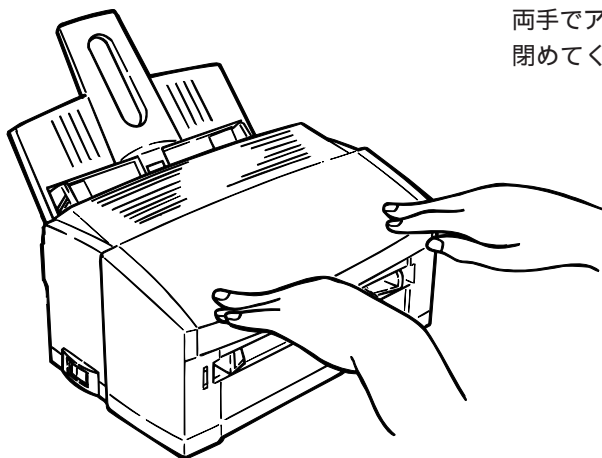
6. トナーカートリッジのノブを回します。

トナーカートリッジのノブ（灰色）を矢印方向いっぱい止まるまで回します。



7. アッパーカバーを閉めます。

両手でアッパーカバーの両端を押して閉めてください。



- ・アッパーカバーが閉まらないときは、プロセスカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
- ・アッパーカバーは、カチッと音がするまで確実に閉めてください。確実に閉められていないと、良好な印刷結果を得ることができません。
- ・トナーカートリッジ取り付け後に印刷する場合、「トナーカートリッジの交換」メッセージが表示されることがあります。故障ではありません。数枚印刷すると表示されなくなります。

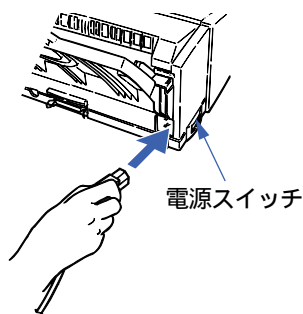
電源コードを接続する

電源の条件

- ・以下の条件を守ってください。
 - 交流 (AC) 100V \pm 10V
 - 電源周波数 50Hz または 60Hz \pm 1Hz
- ・電源が不安定な場合は、電圧調整器などをご使用ください。
- ・本プリンタの定格電力は 450W です。電源容量に十分余裕があることを確認してください。
- ・本プリンタと同じコンセントに他の電気製品を接続しないでください。特に空調機、複写機、シュレッターなどを接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続する場合は、市販のノイズフィルターかトランスをご使用ください。
- ・電源コードが踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- ・延長コードを使用する場合は、7A 以上のものをご使用ください。
- ・電源コード、アース線を接続する場合には、必ず電源を切ってから接続してください。
- ・アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。危険ですので、水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。

1.

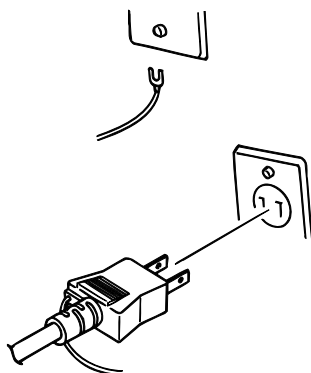
電源コードをプリンタに差し込みます。



注! 電源スイッチがOFF () 側になっていることを確認してください。

2.

電源コードをコンセントに差し込みます。



アース線をコンセントのアース端子に接続します。

差し込みプラグをコンセントに差し込みます。

注! ・万一の危険防止のため、アース線は必ず接続してください。
・コンセント近くにアース端子がない場合は、電気工事店へご相談ください。

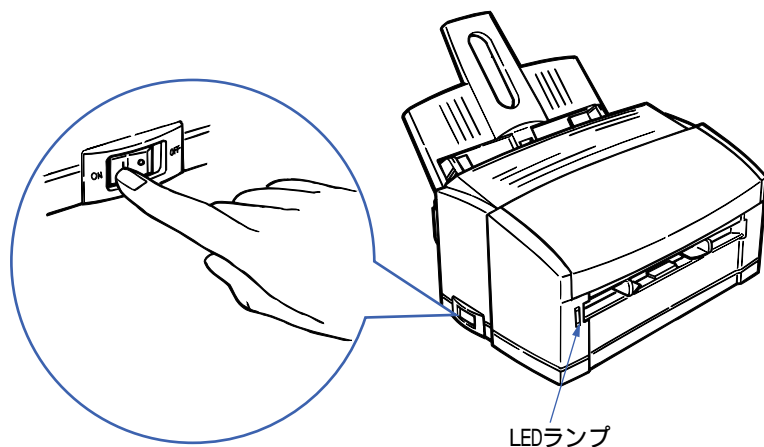
2

プリンタを設置します

電源を入れる

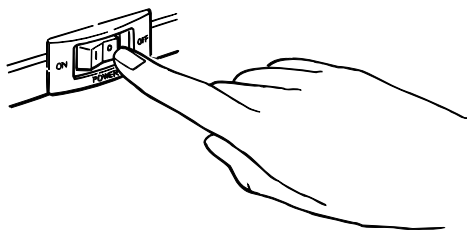
電源スイッチのON (|) 側を押します。

電源がオンになるとプリンタ正面のLED ランプが点灯します。



電源を切るには電源スイッチのOFF () 側を押します。

電源がオフになるとプリンタ正面のLED ランプが消灯します。



注! 印刷中には電源を切らないでください。



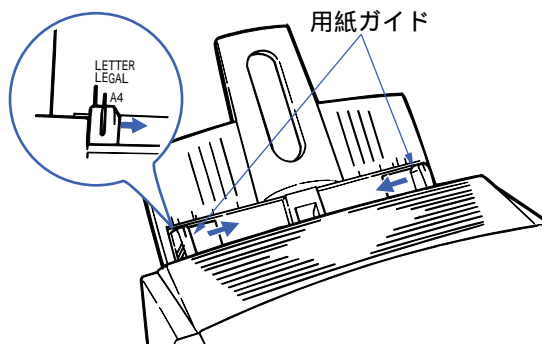
3. 用紙をセットします

用紙フィーダにセットする

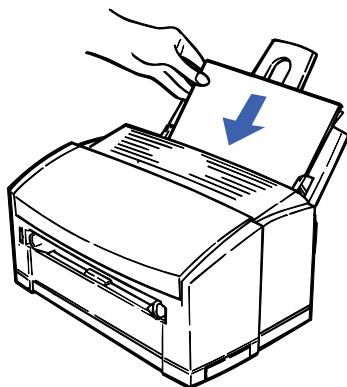
普通紙に印刷する場合は、用紙フィーダに用紙をセットします。

注 フリーサイズの場合は、用紙フィーダではなく、必ず手差し口から印刷してください。

1. 左右の用紙ガイドを使用する用紙サイズに合わせます。



2. 用紙を用紙フィーダにセットし、右側の用紙ガイドを軽く押しつけます。



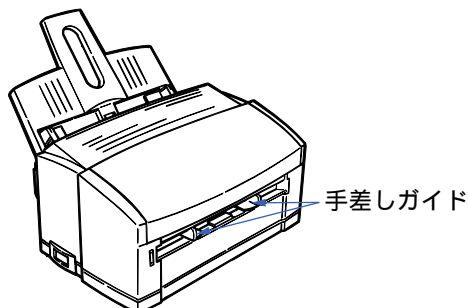
用紙ガイドに沿って、用紙が突き当たるまで、静かにまっすぐ入れます。用紙と用紙ガイドの間に隙間がある場合や、きつい場合には、右側の用紙ガイドで微調整します。

- ・印刷面を下に向けてセットしてください。
- ・レターヘッドなどがある用紙は、ページの先頭を下にしてください。
- ・用紙をセットした後は、用紙ガイドを動かさないでください。
- ・用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を一旦取り出し、追加する用紙と合わせてからセットしてください。
- ・用紙は、55Kg 紙で100枚までセットできます。
- ・用紙を1枚だけセットしていると、正しく給紙されない場合があります。

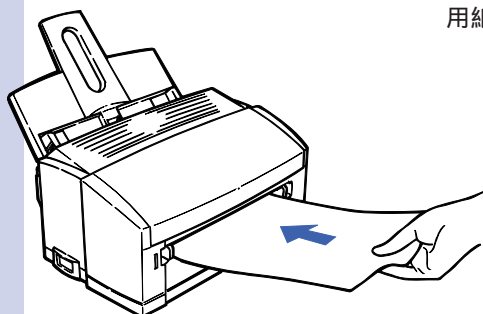
手差し口にセットする

OHPシートやラベル紙、A6、フリーサイズで印刷する場合は、用紙を手差し口にセットします。

1. 手差しガイドを使用する用紙サイズに合わせます。



2. 用紙を手差し口にセットします。



用紙を手差しガイドに沿ってまっすぐ入れます。

- ・印刷面を上に向けてセットしてください。
- ・レターヘッドなどがある用紙は、ページの先頭からセットしてください。
- ・用紙は1枚ずつ挿入してください。
- ・用紙が曲がるほど強く押し込まないでください。
- ・用紙ガイドと用紙の間に隙間が空かないように注意してください。
- ・用紙をセットした後は、用紙ガイドを動かさないでください。

プリンタが用紙の先端を引き込んだら、手を離します。



- ・手差し印刷を行う場合は、パソコン側の給紙方法は「手差し」を選択してください。
- ・連続で手差し印刷を行う場合は、パソコンの画面に「手差し口にXX用紙をセットしてください」と表示され、前の用紙が完全に排出されたことを確認してから、次の用紙をセットしてください。（XXには設定している用紙サイズが表示されます。）
- ・パワーセーブ状態のときは、プリンタが動作するまでに少し時間がかかります。
- ・用紙を手差し口に入れてすぐに手を離してしまうと、紙づまりが発生することがあります。

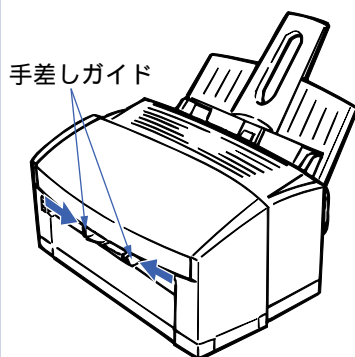
用紙をセットします

ハガキガイドにセットする

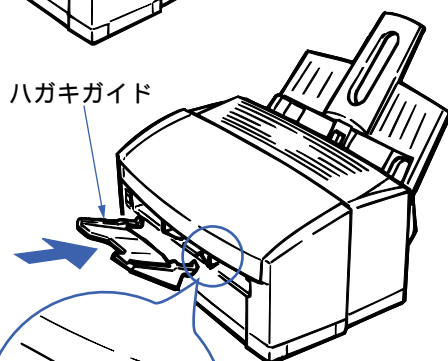
ハガキに印刷する場合は、ハガキをハガキガイドにセットします。ハガキガイドはプリンタに添付されています。

- 注** ・ハガキに印刷する場合には、必ずハガキガイドを使用してください。
・官製ハガキを使用してください。私製ハガキは保証外です。
・往復ハガキは使用できません。

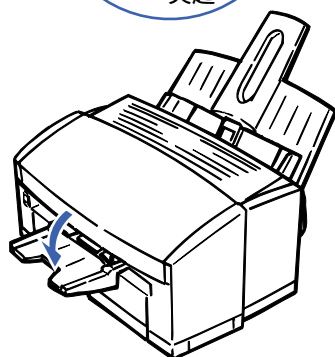
1. ハガキガイドを取り付けます。



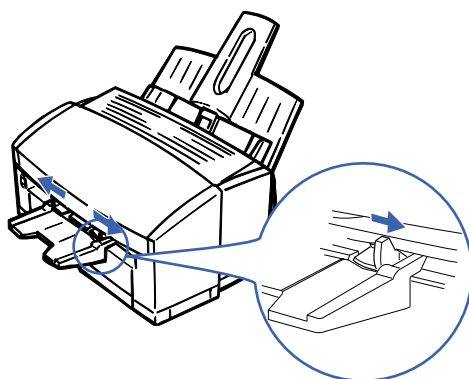
手差しガイドを左右から内側に突き当てるまで移動させます。



ハガキガイドの突起(左右2ヶ所)を手差し口に合わせます。

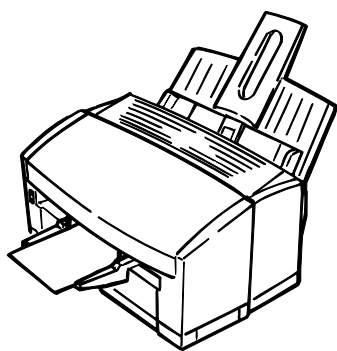


ハガキガイドを上から下に押して、手差し口に固定します。



ハガキガイドに当たるまで手差しガイドを広げます。

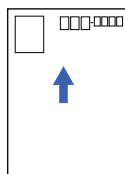
2. ハガキをハガキガイドにセットします。



ハガキをハガキガイドに沿ってまっすぐ入れます。

- ・印刷面を上に向けてセットしてください。
- ・ハガキの先頭からセットしてください。
- ・ハガキは1枚ずつ挿入してください。
- ・ハガキが曲がるほど強く押し込まないでください。

ハガキのセット方向



プリンタが用紙の先端を引き込んだら、手を離します。



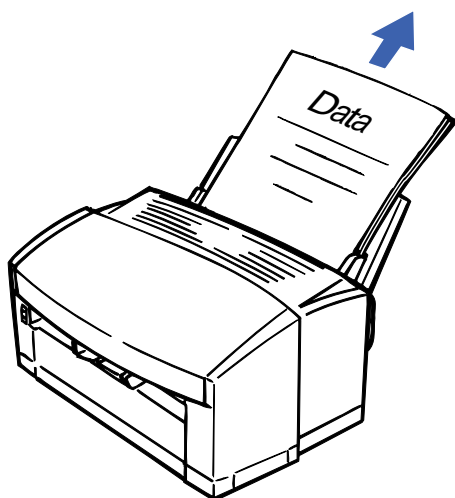
- ・ハガキに印刷する場合は、パソコン側の給紙方法が「手差し」になっていることを確認してください。
- ・連続印刷を行う場合は、パソコンの画面に「手差し口にはがきをセットしてください」と表示され、前のハガキが完全に排出されたことを確認してから、次のハガキをセットしてください。
- ・パワーセーブ状態のときは、プリンタが動作するまでに少し時間がかかります。
- ・ハガキをハガキガイドに入れてすぐに手を離してしまうと、紙づまりが発生することがあります。

用紙をセットします

用紙の排出

用紙は用紙フィーダ上部の排紙スタッカへ排出されます。

- ・印刷された用紙は印刷面が上向きで排出されます。
- ・55kg 紙で約 30 枚まで、排紙スタッカ上にのせておくことができます。



3

注 用紙排出口は熱くなっていることがあります。用紙を取るときにはご注意ください。



4. Windows 98/95/NT4.0/2000 から印刷します

プリンタドライバの動作環境

Windows 98/95

Windows 98 日本語版、Windows 95 日本語版の動作する PC/AT 互換機で、次の条件を満たすもの。

CPU	i486DX2 66MHz 以上（推奨 Pentium 133MHz 以上）
メモリ	16MB 以上
ハードディスク	5MB 以上の空き容量
接続ポート	IEEE1284 に準拠したパラレルポート

Windows NT4.0

Windows NT Server4.0 日本語版または Windows NT Workstation4.0 日本語版の動作する PC/AT 互換機で、次の条件を満たすもの。

CPU	Pentium 90MHz 以上（推奨 Pentium 133MHz 以上）
メモリ	32MB 以上（推奨 64MB 以上）
仮想メモリ	32MB 以上の空き容量
ハードディスク	8MB 以上の空き容量
接続ポート	IEEE1284 に準拠したパラレルポート

Windows 2000

Windows 2000 Professional 日本語版または Windows 2000 Server 日本語版の動作する PC/AT 互換機で、次の条件を満たすもの。

CPU	Pentium 133MHz 以上（推奨 Pentium 166MHz 以上）
メモリ	32MB 以上（推奨 64MB 以上）
仮想メモリ	32MB 以上の空き容量
ハードディスク	8MB 以上の空き容量
接続ポート	IEEE1284 に準拠したパラレルポート



- ・日本語版以外のWindows 98/95、Windows NT4.0/2000では動作しません。
- ・MS-DOSおよびWindowsのDOSプロンプトでは動作しません。
- ・WIN-OS/2、Windows NT 3.5/3.51、およびWindows 3.1では動作しません。
- ・Windows NT4.0/2000は、ARC 互換RISCベースのプロセッサ（MIPS®Rシリーズ、Alpha、PowerPC™など）のシステムには対応していません。
- ・双方向通信に対応したプリンタと同一ポートを共存して使用することはできません。
次のプリンタとは、共存できません。
 - = Microsoft®Windows®Printing Systemに対応したプリンタ =
 - = カラーインクジェットプリンタ =
XJ-300, XJ-330, XJ-350, XJ-500, XJ-550, XJ-600, XJ-610, XJ-700, XJ-800
 - = カラースキャナ & プリンタ =
XJS-400
 - = イメージプロセッサ =
IA-3000
- ・パラレルポートがECPモードになっていると、正常に動作しない場合があります。
ECPモードになっている場合は、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧の上、他のモードへ変更してご使用ください。
- ・プリンタ切替器に接続していると、正常に印刷できない場合があります。このような場合は、プリンタ切替器をはずしてご使用ください。
- ・USB-パラレル変換ケーブルによる接続では、正常に印刷できません。
- ・Windowsの持つプリンタの共有による印刷や、LANアダプタなどによる接続には対応していません。



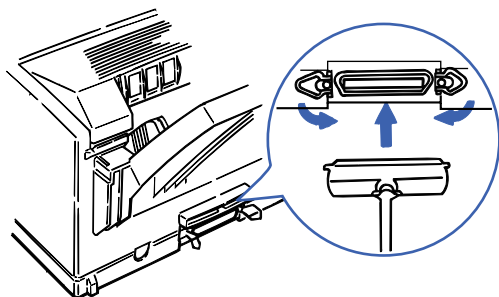
- ・フロッピードライブの表記について
本書では、フロッピードライブ名は、A : を例にしています。通常、フロッピードライブは、PC/AT 互換機（DOS/V、PC98-NX）では A : になっています。お使いのパソコンのフロッピードライブをご確認の上、入力してください。
- ・Windows 画面の図について
 - ・Windows 98/95/NT4.0/2000 共通の画面は、基本的に Windows 98 の画面を例にしています。
 - ・お使いの OS（Windows 98/95/NT4.0/2000）によって、画面表示や選択肢の内容が一部異なる場合があります。

1. プリンタ、パソコンの電源をオフにします。

2. プリンタケーブルを接続します。



- ・ IEEE1284に準拠した双方向パラレルケーブルを用意してください。
- ・ プリンタケーブルは本プリンタには添付されていません。お使いのパソコンに合わせて別途ご購入ください。



プリンタケーブルをプリンタの
パラレルインタフェースに差し
込み、コネクタ両側の金具で固
定します。

プリンタケーブルのもう一方の
コネクタをパソコンに接続しま
す。

3. プリンタの電源をオンにします。

4. パソコンの電源をオンにして、Windows を起動しま す。

Windows 98/95 をすでに起動している場合には、必ず再起動してください。

Windows 98 をお使いの場合は手順 5 (P.27) に進んでください。

Windows 95 をお使いの場合は手順 6 (P.29) に進んでください。

Windows NT4.0/2000 をお使いの場合は手順 7 (P.31) に進んでください。

5.

Windows 98

Windows 98をお使いの方だけご覧ください。

画面の指示に従って、プリンタドライバディスクをセットします。

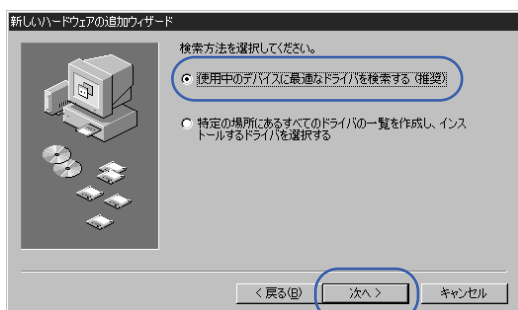


- ・ FUJITSU XL-1200がすでに登録されている場合は、一旦削除してからセットアップしてください。（P.50）
- ・ 〔新しいハードウェア〕が検出されない場合（下記のような画面が表示されない場合）は、セットアッププログラム（手順7（P.31）と同じ方法）からセットアップしてください。
- ・ 〔プリンタの追加ウィザード〕からのセットアップはサポートしていません。



〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されたら、〔次へ〕をクリックします。

4



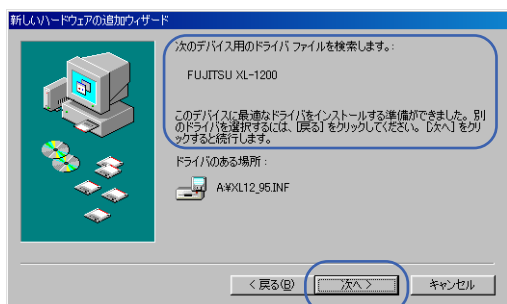
〔使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)〕を選択し、〔次へ〕をクリックします。

Windows 98/95/NT4.0/2000 から印刷します

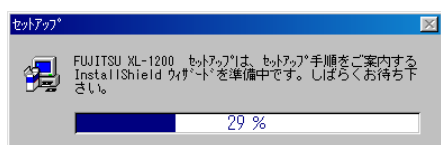
プリンタドライバディスク(Disk1)を
セットします。

「フロッピーディスクドライブ」を
チェックし、「次へ」をクリックします。

「検索場所の指定」をチェックし、
「A: ¥」と入力してもセットアップで
きます。



ドライバが見つかったことを確認し、
「次へ」をクリックします。



注! 途中で左記のダイアログが表示
され、セットアッププログラム
が起動します。



「完了」をクリックします。

セットアッププログラムの画面が表示
されます。
手順 8 (P.32) へお進みください。

6.

Windows 95

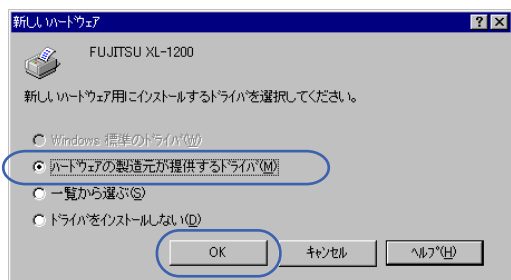
Windows 95をお使いの方だけご覧ください。

画面の指示に従って、プリンタドライバディスクをセットします。



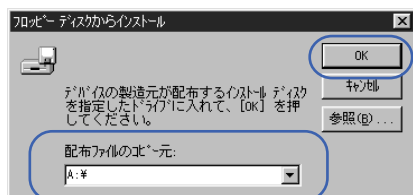
- ・FUJITSU XL-1200がすでに登録されている場合は、一旦削除してからセットアップしてください。(P.50)
- ・Windows 95のバージョンによって、画面表示が異なります。Windows 95のバージョンは〔マイコンピュータ〕アイコンを右クリックし、〔プロパティ〕〔システムのプロパティ〕に表示されます。
- ・〔新しいハードウェア〕が検出されない場合(下記のような画面が表示されない場合は、セットアッププログラム(手順7(P.31)と同じ方法)からセットアップしてください。
- ・〔プリンタウィザード〕からのセットアップはサポートしていません。

4.00.950 または 4.00.950a の場合



〔新しいハードウェア〕が表示されたら、〔ハードウェアの製造元が提供するドライバ〕を選択し、〔OK〕をクリックします。

プリンタドライバディスク(Disk1)をセットします。



「配布ファイルのコピー元」に「A: ¥」と入力して〔OK〕をクリックします。

セットアッププログラムが起動します。手順8(P.32)へお進みください。

4.00.950B または 4.00.950C の場合



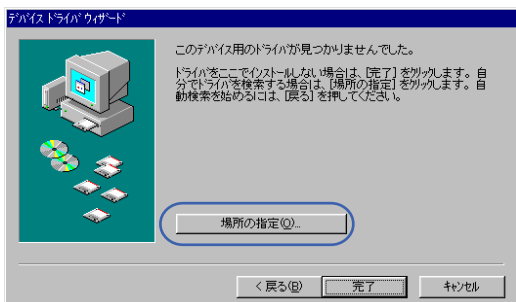
〔デバイスドライバウィザード〕が表示されたらプリンタドライバディスク(Disk1)をセットし、〔次へ〕をクリックします。

Windows 98/95/NT4.0/2000 から印刷します

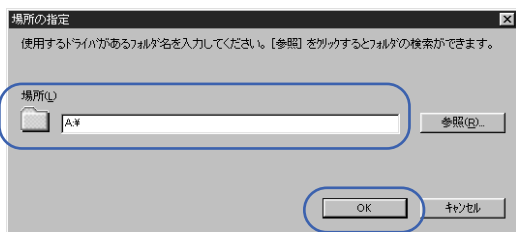
4



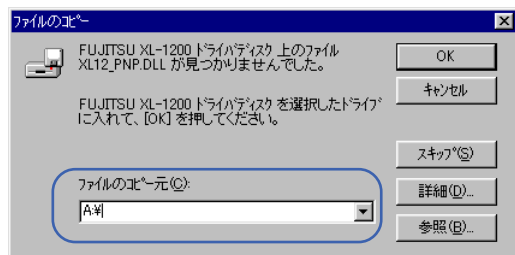
ドライバが見つかったことを確認し、
〔完了〕をクリックします。



注. ドライバが見つからなかったと
表示される場合は、〔場所の指
定〕をクリックします。



〔場所の指定〕が表示されたら、
「場所」にフロッピードライ
ブを指定します。（フロッ
ピードライブがAドライブの場
合、「A：¥」と入力して
〔OK〕をクリックします。



セットアップの途中で左記のダイア
ログが表示された場合は〔OK〕をクリッ
クし、「ファイルのコピー元」に「A：
¥」と入力して〔OK〕をクリックしま
す。

セットアッププログラムが起動しま
す。
手順 8 (P.32) へお進みください。

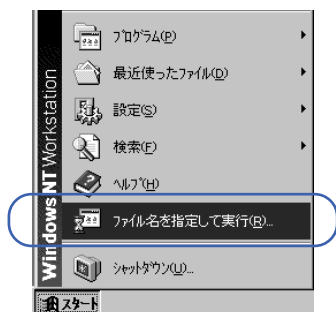
7.

Windows 98/95/NT4.0/2000

セットアッププログラムを起動します。

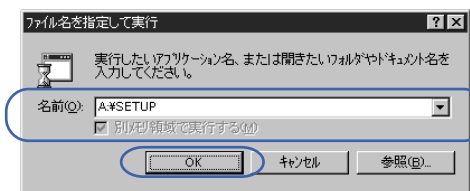


- ・ FUJITSU XL-1200がすでに登録されている場合は、一旦削除してからセットアップしてください。(P.50)
 - ・ Windows 98/95をお使いの方で、前ページまでの手順でセットアッププログラムが起動している場合は、本操作を行う必要はありません。
 - ・ 〔プリンタの追加ウィザード〕からのセットアップはサポートしていません。
 - ・ Windows 2000では、〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕からのセットアップはサポートしていません。
- もし、〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕が表示された場合は、〔キャンセル〕を実行後、以下の手順でセットアップしてください。



プリンタドライバディスク (Disk1) をセットします。

〔スタート〕 〔ファイル名を指定して実行〕を選択します。



「名前」に「A:¥SETUP」と入力し、〔OK〕をクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

8.

画面の指示にしたがって、セットアップを行います。



〔次へ〕をクリックします。



プリンタ名および通常のプリンタにするかどうかを設定し、〔次へ〕をクリックします。

注! 通常使うプリンタの設定は、他のプリンタがインストールされている場合にのみ表示されます。



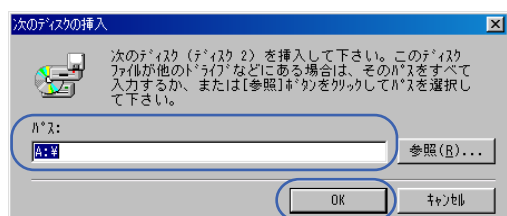
使用するポートを選択し、〔次へ〕をクリックします。

注! COMポートはサポートしていません。



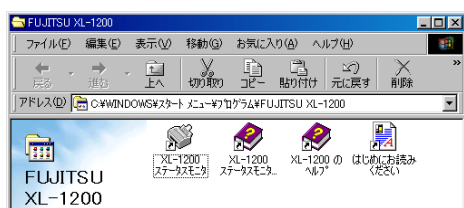
ステータスマニタを登録するフォルダを指定し、〔次へ〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。



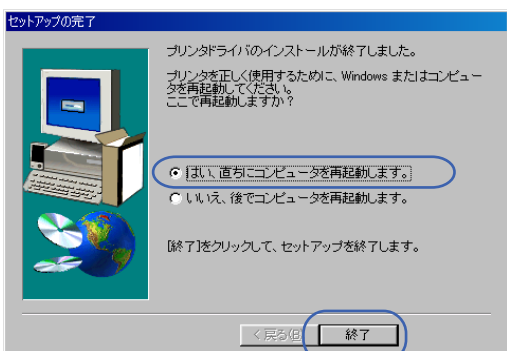
〔次のディスクの挿入〕ダイアログが表示されたら、Disk2 を入れ替えます。

「パス」が「A: ¥」になっていることを確認し、〔OK〕をクリックします。



〔FUJITSU XL-1200〕フォルダが表示されます。内容は次の通りです。

- XL-1200 ステータスマニタ
- XL-1200ステータスマニタのヘルプ
- XL-1200 のヘルプ
- はじめにお読みください



〔終了〕をクリックし、Windows を再起動します。

注 本ダイアログは他のダイアログに隠れている場合があります。隠れている場合はセットアップダイアログのどこかをクリックしてください。

9.

用紙サイズ、印刷の向き、給紙方法を設定します。

印刷に必要な設定を行います。各項目の詳細は、「プリンタドライバの主な機能」(P.51)を参照してください。

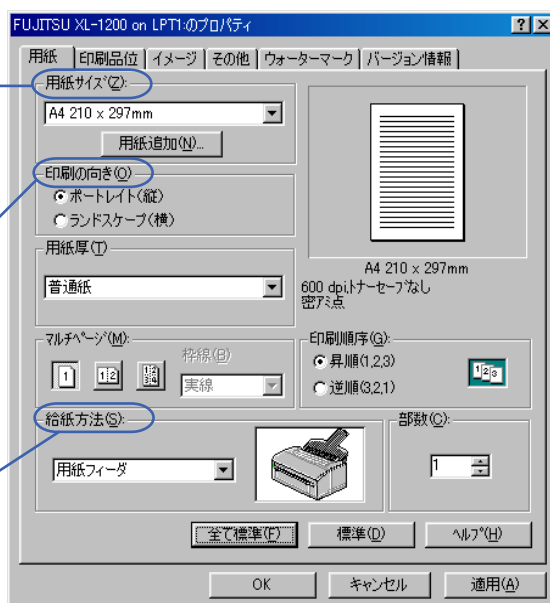


- ・ Windows 98/95では、〔マイコンピュータ〕〔プリンタ〕〔FUJITSU XL-1200〕アイコンを右クリックし、〔プロパティ〕を選択します。
- ・ Windows NT4.0では〔マイコンピュータ〕〔プリンタ〕〔FUJITSU XL-1200〕アイコンを右クリックし、〔ドキュメントの既定値〕を選択します。
- ・ Windows 2000では〔マイコンピュータ〕〔コントロールパネル〕〔プリンタ〕〔FUJITSU XL-1200〕アイコンを右クリックし、〔プロパティ〕〔印刷設定〕を選択します。

用紙サイズ
使用する用紙サイズを選択
します。
〔用紙追加〕をクリックする
と、ユーザ定義用紙を登録し
ておくことができます。

印刷の向き
印刷の向きを選択します。

給紙方法
給紙方法を選択します。手差
し印刷を行うときには、「手
差し」を選択してください。



〔用紙〕タブでは、用紙厚、マルチページ、印刷順序、部数などの設定もできます。

10. Windows から印刷します。

印刷方法はアプリケーションによって異なります。詳しくは、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。



- ・アプリケーションの印刷メニューでプリンタの設定を行った場合は、アプリケーションでの設定が優先されます。
- ・ギザギザのないきれいな文字を印刷するために、MS明朝、MSゴシックなどのTrue Typeアウトラインフォントを指定してください。
- ・プリンタドライバ、ステータスマニタについての詳細は「Windows 98/95/NT4.0/2000プリンタソフトウェアについて」(P.50)をご覧ください。

5. メンテナンスをします

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジ交換の目安

トナーが少なくなると、パソコンに「トナー交換です」のメッセージが表示されます。新しいトナーカートリッジに交換してください。

お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、カートリッジを外して、カートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。

トナーカートリッジ交換の目安は、5%の印刷密度(1ページの印刷可能領域でトナーのついている面積の割合)の場合、A4サイズ用の紙で約1,500枚です。ただし、新しいプロセスカートリッジに1本目のトナーカートリッジを取りつけたときの寿命は約600枚になります。

トナーカートリッジセットの確認

トナーカートリッジセットには、トナーカートリッジ、LEDレンズクリーナが入っています。

1. プリンタの電源をオフにし、アッパーカバーを開きます。

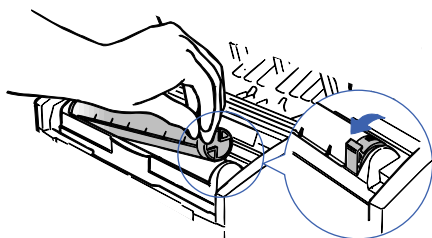


警告 やけどの恐れがあります。



カバーを開くと、「高温注意」のラベルが見えます。この部分は非常に熱くなっていますので、決して触らないでください。

2. 使用済みのトナーカートリッジを取り出します。



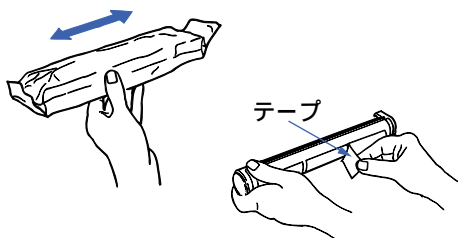
右側のノブを矢印方向(手前)いっぱい止まるまで回します。

ノブを持ち上げて、取り出します。



MEMO 使用済みのトナーカートリッジの回収を行っています。詳細は「使用済みプロセスカートリッジ・トナーカートリッジの回収について」(P.69)をご覧ください。

3. 新しいトナーカートリッジを用意します。



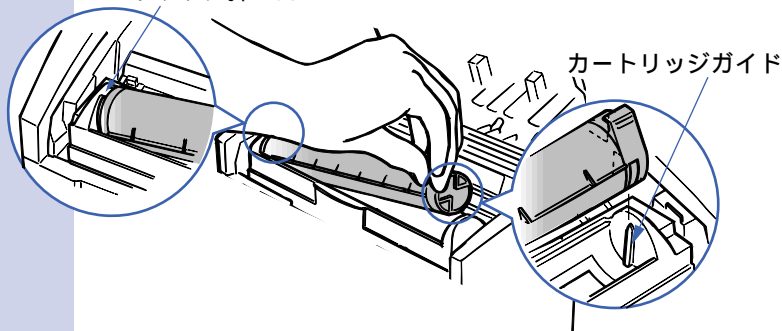
新しいトナーカートリッジを、左右に数回振ります。

包装袋からトナーカートリッジを取り出します。

トナーカートリッジを水平にして、白いテープをゆっくりとはがします。

4. トナーカートリッジをセットします。

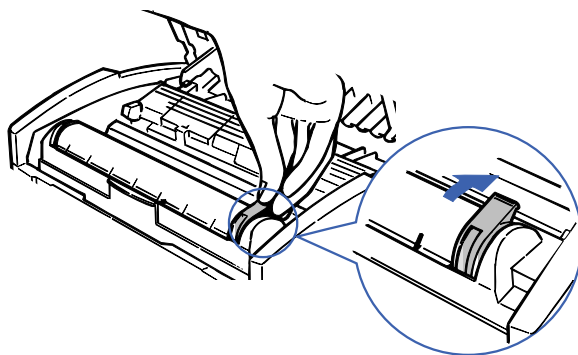
カートリッジ押さえ



テープをはがした面を下にしてトナーカートリッジをカートリッジ押さえの下に入れます。

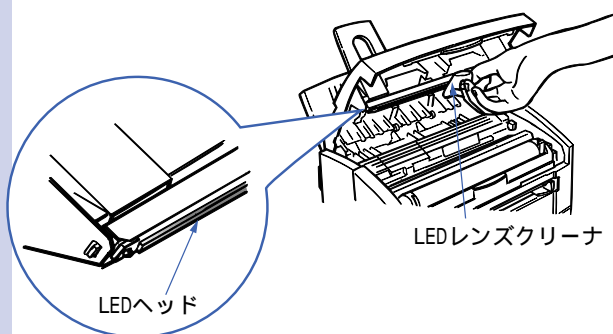
右側の溝をプロセスカートリッジのカートリッジガイドに合わせ、しっかりと押し込みます。

5. トナーカートリッジのノブを回します。



トナーカートリッジのノブ（灰色）を矢印方向いっぱい止まるまで回します。

6. LED ヘッドを清掃します。



LEDレンズクリーナで、LEDヘッドの細長いレンズを軽く拭きます。



- ・LEDレンズクリーナは、別売の交換用トナーカートリッジに添付されています。
- ・LEDヘッド面が汚れていると、印刷時にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじんだりします。

7. アッパーカバーを閉じます。

両手でアッパーカバーの両端をカチッと音がするまで押して確実に閉めてください。



トナーカートリッジ取り付け後に印刷する場合、「トナーカートリッジの交換」メッセージが表示されることがあります。故障ではありません。数枚印刷すると表示されなくなります。

メンテナンスをします

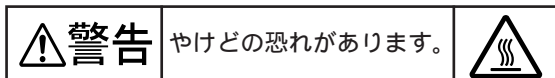
プロセスカートリッジを交換する

プロセスカートリッジの交換の目安

プロセスカートリッジが寿命に近づくと、パソコンに「プロセスカートリッジ寿命です」のメッセージが表示されます。新しいプロセスカートリッジに交換してください。

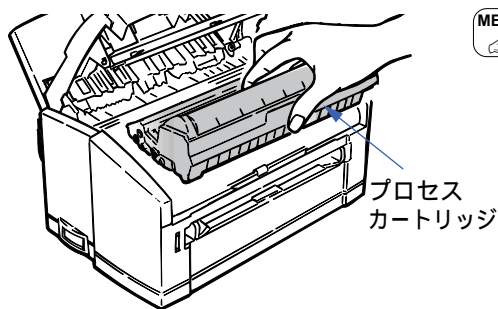
プロセスカートリッジ交換の目安は、A4サイズ用の紙で約10,000枚です。ただし、約10,000枚というのは、A4サイズを連続印刷した場合の枚数です。一度印刷するとプロセスカートリッジは空回転をするため、一度に1枚ずつ印刷する場合、プロセスカートリッジの寿命の枚数は約半数になります。

1. プリンタの電源をオフにし、アッパーカバーを開きます。



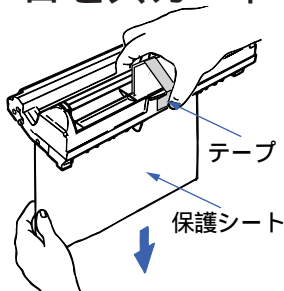
カバーを開くと、「高温注意」のラベルが見えます。この部分は非常に熱くなっていますので、決して触らないでください。

2. 使用済みのプロセスカートリッジを取り出します。



- ・プロセスカートリッジを取り出すと、取り付けられているトナーカートリッジも一緒に取り出されます。
- ・使用済みのプロセスカートリッジとトナーカートリッジの回収を行っています。詳細は「使用済みプロセスカートリッジ・トナーカートリッジの回収について」(P.69)をご覧ください。

5 3. 新しいプロセスカートリッジを用意します。



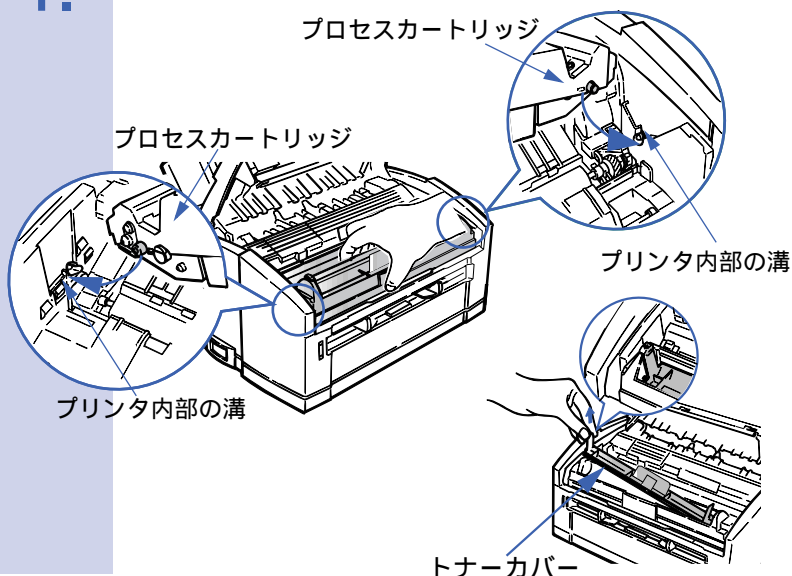
新しいプロセスカートリッジを包装箱から取り出します。

白いテープをはがし、保護シートを引き抜きます。



- ・感光ドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- ・プロセスカートリッジを直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分以上放置しないでください。

4. プロセスカートリッジをセットします。



プロセスカートリッジの両側にある突起をプリンタ内部の溝に合わせて挿入します。

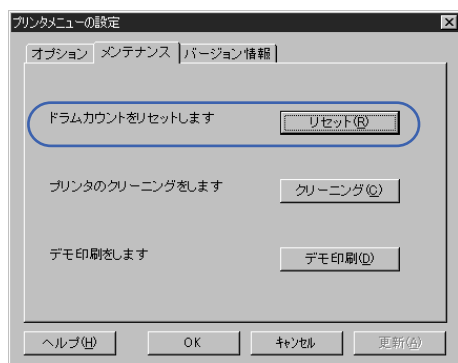
プロセスカートリッジの左右を下方方向に押します。カチッと音がして固定されます。

トナーカバーを左側からゆっくりと取り外します。

5. トナーカートリッジを取りつけ、LED ヘッドを清掃します。

詳細は「トナーカートリッジを交換する」(P.36)をご覧ください。

6. ドラムカウントをクリアします。



〔スタート〕〔プログラム〕〔FUJITSU XL-1200〕〔XL-1200 ステータスマニタ〕をクリックします。

〔プリンタの設定〕タブ〔メニュー設定〕〔メンテナンス〕タブの〔リセット〕をクリックします。

確認のダイアログが表示されるので、〔OK〕をクリックします。

注 プロセスカートリッジを交換したとき以外は、この操作は行なわないでください。誤って行なうとプロセスカートリッジ寿命が正しく表示されません。

メンテナンスをします

プリンタを清掃する



プリンタを清掃するときには、次の点に注意してください。

- ・必ず電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。
- ・水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。
- ・本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。

LED ヘッドの清掃

1.

プリンタの電源をオフにし、アッパーカバーを開きます。



警告

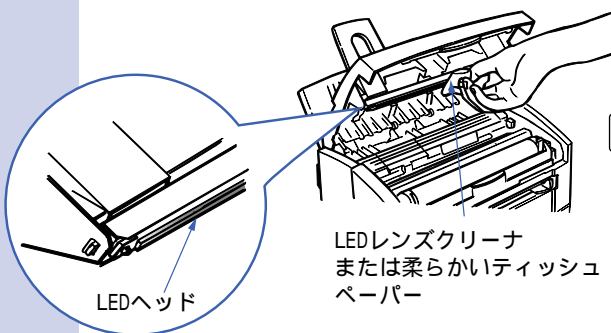
やけどの恐れがあります。



カバーを開くと、「高温注意」のラベルが見えます。この部分は非常に熱くなっていますので、決して触らないでください。

2.

LED レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで、LED ヘッドを軽く拭きます。



給紙方向に縦にかすれる、白いスジがはいる、文字や黒い部分の輪郭が、にじむ場合は、LEDヘッドを清掃してください。



・LEDレンズクリーナは、別売の交換用トナーカートリッジに添付されています。

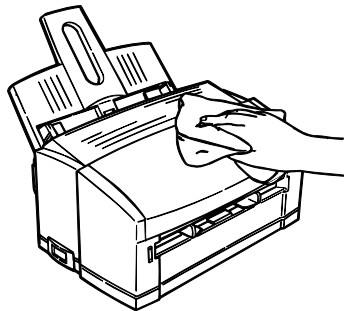
・メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、レンズ面を痛めますのでお使いにならないでください。

5

プリンタの表面の清掃

1.

プリンタの表面を拭きます。




水または中性洗剤を含ませてかたく絞った布で拭きます。

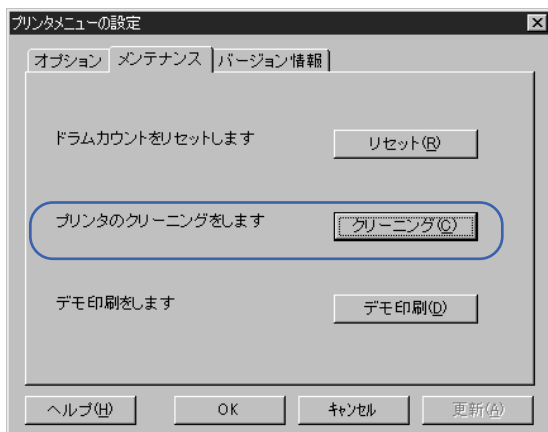
柔らかい乾いた布で拭きます。

クリーニングページ

プリンタ内部のローラーに付着した汚れを取り除きます。次のような場合に行ってください。

- ・周期的な黒点や黒・白斑点が入る場合
- ・ハガキへの印刷中や印刷後に、印刷開始位置がずれる場合

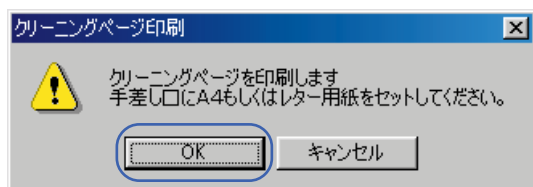
- 注**  ・必ずA4またはレターサイズの白紙を使用してください。
- ・用紙フィーダにセットされた用紙を取り除き、手差し口に用紙をセットしてからクリーニングページを行ってください。



A4 またはレターサイズの用紙を手差し口にセットします。

〔スタート〕〔プログラム〕〔FUJITSU XL-1200〕〔XL-1200 ステータスマニタ〕をクリックします。

〔プリンタの設定〕タブ 〔メニュー設定〕〔メンテナンス〕タブの〔クリーニング〕をクリックします。



手差し口に用紙がセットされていることを確認し、〔クリーニングページ印刷〕ダイアログで〔OK〕をクリックします。



手差し口に用紙をセットせずに〔OK〕をクリックすると、プリンタはエラー状態（用紙なし）になりますが、パソコンから復旧することはできません。この場合は、プリンタのアップカバーの開閉を行ってから、再度クリーニングを行ってください。

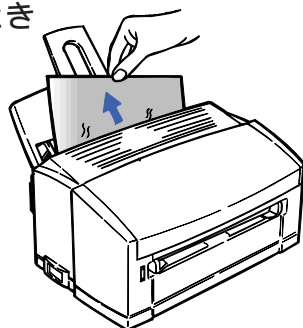
6. 困ったときには

エラーが発生した場合は、画面に表示されるメッセージにしたがって処理を行ってください。

メッセージ通りの処置やここで説明する処置をしても良くならない場合は、販売店または富士通パーソナルエコーセンタへご連絡ください。メッセージが表示される場合は、その内容または4桁のコードを併せてご連絡ください。

紙づまりが起こったとき

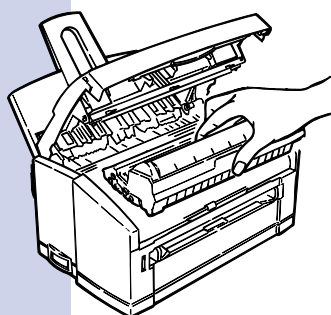
給紙口でつまったとき



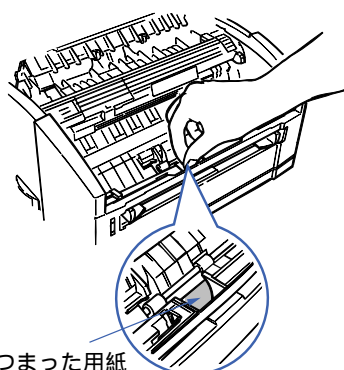
用紙を上方向にそっと引いて取り出します。

プリンタ内部でつまったとき

プロセスカートリッジを取り出します。

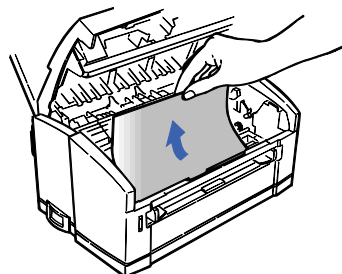


用紙を上方向にそっと引いて取り出します。



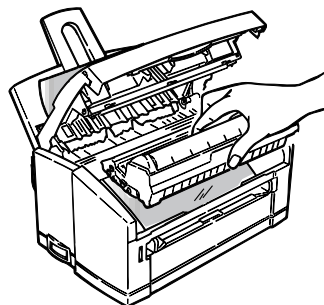
つまった用紙

つまった用紙を用紙つまみ口から引っ張り出します。

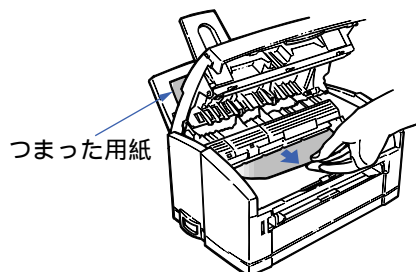


排出口でつまったとき

プロセスカートリッジを取り出します。



つまった用紙をプリンタ内部側にそっと引いて取り出します。



つまった用紙






注 排出口で紙づまりが起きたとき、後ろにつまんだ用紙が見えている場合でもプリンタ内部側に用紙を引き抜いてください。後ろに引き抜くと、定着器の分離爪を傷めるおそれがあります。

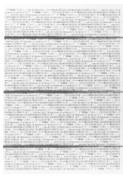



用紙送りに異常がでるとき

注 用紙送り性能は、プリンタが設置してある環境、用紙の保管状態によって、大きく違ってきます。適切な温度、湿度でお使いください。

現象	原因	処置	参照
紙づまりが頻繁に発生する。	用紙が厚すぎるか薄すぎます。	プリンタに合った用紙をお使いください。	65
	用紙に湿気が含まれています。	適切な温度、湿度で保管した用紙をお使いください。	8 68
	用紙に折り目やしわがあります。	プリンタに合った用紙をお使いください。 適切な温度、湿度で保管した用紙をお使いください。	8 65 68
	一度印刷した用紙を使用しています。	両面印刷はできません。新しい用紙をお使いください。	-
	用紙を1枚だけセットしています。	用紙を数枚セットしてください。	-
用紙が2枚以上一緒に引き込まれる。	用紙フィーダにセットしている用紙の枚数が多すぎます。	正しい枚数をセットし直してください。	18
	用紙が厚すぎるか薄すぎます。	プリンタに合った用紙をお使いください。	65
	用紙が静電気を帯びています。	適切な温度、湿度で保管した用紙をお使いください。	8 68
	用紙がまっすぐにセットされていません。	用紙を正しくセットし直してください。	18
	一度印刷した用紙を使用しています。	両面印刷はできません。新しい用紙をお使いください。	-
極端に用紙がまるまってしまう。	用紙が入ったまま用紙を追加しています。	先に入っている用紙を取り出し、揃えてから再度セットしてください。	18
	用紙に湿気が含まれています。	適切な温度、湿度で保管した用紙をお使いください。	8 68
	薄い用紙を使用しています。	プリンタドライバで用紙厚を〔薄い紙〕にしてください。	64
用紙が斜めに入ってしまう。曲がって印刷されてしまう。	用紙の保管状態が良くありません。	用紙は乾燥した場所に平らに保管してください。	68
	用紙がまっすぐにセットされていません。	用紙を正しくセットし直してください。	18
ハガキに印刷するとカールが発生する。	厚い用紙に印刷するとカールが発生します。	プリンタの実力ですので、ご了承ください。	-
ハガキで縦折れ線ができることがあります。	ハガキに湿気が含まれています。	適切な温度、湿度で保管したハガキをお使いください。	8 68
手差し印刷をすると紙づまりになってしまう。	用紙が正しくセットされていません。	プリンタが用紙を引き込むまで、用紙から手を離さないでください。	19

印刷が不鮮明なとき

現 象	原 因	処 置	参照
	給紙方向に縦の白いスジが入る。	LED ヘッドの表面を LED レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。	40
	給紙方向に縦にかすれる。	トナーが少なくなっています。 異物がつまっています。	36 38
	部分的にかすれる。	LED ヘッドの表面を LED レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。	40
	トナーが少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。	36
	用紙がプリンタに適していません。	プリンタに合った用紙をお使いください。	65
	黒ベタを印刷すると、部分的に薄くなる。	黒ベタ印刷にトナーを十分供給できない場合があります。	-
	印刷が非常に薄い。	トナーカートリッジがきちんとセットされていません。	36
		プロセスカートリッジがきちんとセットされていません。	39
		トナーが少なくなっています。	36
		用紙に湿気が含まれています。	8 68
		ハガキの両面に印刷しました。	-
		用紙がプリンタに適していません。	65
	給紙方向に縦の黒いスジ状の汚れが出る。	プロセスカートリッジに傷がついています。	38
		トナーが少なくなっています。	36

現 象	原 因	処 置	参照
 <p>周期的に黒点や黒・白斑点が入る。</p>	50mm周期の場合は、感光ドラムに傷または汚れがついています。	傷の場合は、プロセスカートリッジを交換してください。 汚れの場合は、クリーニングページを行ない、それでも直らないときは、柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。	38 41
	63mm周期の場合は、定着器に傷がついています。	富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。	75
	20mm 周期の場合は、プロセスカートリッジ内にゴミが混入しています。	クリーニングページを行ってください。	41
	感光ドラムが光にさらされました。	アッパーカバーを閉じたまま数時間プリンタを使用しないでください。 それでも直らない場合は、プロセスカートリッジを交換してください。	- 38
	 <p>白地の部分が薄く汚れる。</p>	用紙が静電気を帯びています。	適切な温度、湿度で保管した用紙をお使いください。
用紙が厚すぎます。		プリンタに合った用紙をお使いください。	65
トナーが少なくなっています。		トナーカートリッジを交換してください。	36
プロセスカートリッジがきちんとセットされていません。		プロセスカートリッジ左右を下方向に押してきちんと固定してください。	39
 <p>文字の周辺がにじむ。</p>		LEDヘッドが汚れています。	LEDヘッドの表面をLEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
	アッパーカバーがきちんと閉じていません。	両手でアッパーカバーの左右をきちんと押してください。	37
 <p>ハガキに印刷すると薄く汚れる。</p>	ハガキに印刷すると表面あるいは裏面に薄くトナーが付着（かぶり）することがあります。	プリンタの実力ですので、ご了承ください。	-
印刷面が汚れ、イメージがはっきりと印刷されない。 裏面が汚れる。	トナーが少なくなった場合や、長期（1年以上）にわたって極端にトナーの使用量が少なかった場合に、用紙の印刷面や裏面が汚れることがあります。	トナーカートリッジを交換し、印刷を行ってください。 徐々に印刷結果が良好となります。 プリンタの故障ではありません。	36

故障かな？と思ったとき

現 象	原 因	処 置	参照
電源が入らない。	電源コードが抜けています。	プリンタの電源スイッチをオフにして電源コードをしっかりと差し込んでください。	15
	停電しています。	お使いのコンセントだけ停電していることもあります。ブレーカーが落ちていないか確認してください。	-
全くデータを受信しない。	プリンタケーブルが抜けています。	プリンタケーブルが外れていないか確認してください。	26
	プリンタケーブルの規格が合っていないかもしれません。	IEEE1284 に準拠したパラレルケーブルを使用しているか確認してください。	71
印刷データが欠ける。	プリンタケーブルが断線しています。	プリンタケーブルを替えてください。	26
	印刷に必要なデータサイズが大きすぎます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ データを簡単にする ・ ページを分けて印刷する ・ 300dpi の解像度を指定する などの処理を行い、印刷データのサイズを小さくしてください。	54
すぐに印刷を開始しない。	パワーセーブモードからの復帰中です。	故障ではありません。ウォーミングアップに必要な時間です。パワーセーブモードを〔8分後から〕等に変えてください。	61
ウォーミングアップ動作が長い。	パワーセーブモードからの復帰中です。	ウォーミングアップが終了するまでお待ちください。	-
	定着器の温度を調整しています。	用紙に最適な温度に制御しています。	-
低解像度で印刷される。	プリンタメモリが少ない。	データを簡単にしてください。300dpi に指定してください。	54
	データが複雑です。	データを簡単にしてください。	-
つまった用紙を取り除いてもプリンタが復旧しない。	用紙を取り除くだけでは復旧しません。	アッパーカバーを開閉してください。	-
異音がする。	プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物があります。	プリンタ内部を点検してください。	-
「トナーセンサーが異常です」と表示される。	プロセスカートリッジがセットされていません。	プロセスカートリッジをセットしてください。	38
アッパーカバーが熱い。	トナーを熱で定着しています。	異常ではありません。触れられないくらい熱くなったときは、富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。	75

現 象	原 因	処 置	参照
テストパターン（横罫線）が印刷される。	アッパーカバーを開いたままプリンタの電源を入れ、その後にアッパーカバーを閉じるとテストパターンの印刷を行います。	これは保守を行うために用意されている機能です。故障ではありません。そのままご使用ください。	-
印刷を行っていないのに、LEDランプが速く点滅する。	プリンタが用紙切れ状態になっています。	アッパーカバーを開閉してください。状態が変化しない場合は、プリンタの電源を入れ直します。それでも状態が変わらない場合は、富士通パーソナルエコセンターへご連絡ください。	16 75

ソフトウェアの問題

注 お使いのアプリケーションに関する問題については各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

現象	原因	処置	参照
Windows 98/95へプリンタドライバをインストールする場合に、新しいハードウェアが検出されない。	プリンタの電源が入っていません。	プリンタの電源を入れます。	16
	パソコンが双方向パラレルインタフェースをサポートしていません。	双方向パラレルインタフェースをサポートしているパソコンに替えてください。	-
	プリンタケーブルの規格が合っていない。	IEEE1284に準拠したパラレルケーブルを使用してください。	71
	プリンタケーブルが正しく接続されていません。	プリンタケーブルが正しく接続されているか確認してください。	26
	プリンタ、Windows 98/95の順序で立ち上げていません。	プリンタ、Windows 98/95の順序で電源を入れます。すでにWindows 98/95が立ち上がっているときは、Windows 98/95を再起動してください。	26
	ハードウェアの検出タイミングが合いません。	Windows NT4.0/2000と同じ方法で、セットアッププログラムからセットアップしてください。	31
Windows 98/95の〔印字テスト〕、またはWindows NT4.0/2000の〔テストページの印刷〕ができない。	プリンタが正しく接続されていません。	ケーブルが正しく接続されているか確認してください。	26
ステータスマニタで「プリンタ接続エラー」と表示され、印刷できない。	プリンタの電源が入っていません。	プリンタの電源を入れます。すでに電源が入っている場合は、入れ直してください。	16
	電源コード、プリンタケーブルが接続されていません。	電源コード、プリンタケーブルを確実に接続してください。	15 26
	パソコンが双方向パラレルインタフェースをサポートしていません。	双方向パラレルインタフェースをサポートしているパソコンに替えてください。	26
	プリンタケーブルの規格が合っていない。	IEEE1284に準拠したパラレルケーブルを使用してください。	71
	出力ポートの設定が違います。	XL-1200が接続されているポートを選択してください。COMポートはサポートしていません。	-
	切替器、パッファなどが接続されています。	プリンタとパソコンを直接接続してください。	-

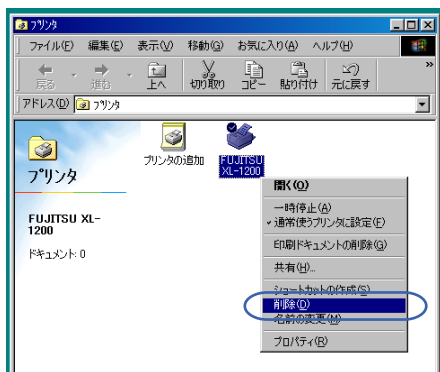
現 象	原 因	処 置	参照
全くデータを受信しない。	他のプリンタドライバが選択されています。	XL-1200のプリンタドライバを選択してください。	-
	プリンタドライバが正しくセットアップされていません。	プリンタドライバを削除し、セットアップし直してください。	26 50
他のプリンタドライバがインストールされていると、印刷できない。	双方向パラレルインタフェースをサポートしている他のプリンタがパラレルポートを使用しています。	他のプリンタのプリンタドライバを削除してください。	-
メモリ不足になる。	プリンタジョブ用のメモリが不足しています。	使用していないアプリケーションを閉じてください。	-
印刷が遅い。	CPU の速度が遅い。	処理速度の速いPCを使用してください。	-
	600dpiを指定しています。	300dpiを指定してください。	54
	データが複雑です。	データを簡単にしてください。	-
印刷部数、解像度などが設定通りに印刷されない。	アプリケーション側での設定が優先されています。	印刷部数などの設定がアプリケーション側にある場合は、アプリケーションでの設定が優先となります。	-
文字がギザギサになる。	ビットマップフォントを指定しています。	TrueType などのアウトラインフォントを指定してください。	-
他のプリンタから印刷される。	アプリケーション（ccMail など）によっては独自のプリンタ選択を行っています。	アプリケーションのプリンタ設定でXL-1200を選択してください。	-
ステータスマニタが見えない。	ステータスマニタがアイコンの形式で最小化されています。	タスクバー上のステータスマニタのアイコンをダブルクリックしてください。	-
トナーがないのに〔トナー交換です〕のメッセージが表示されない。	ステータスマニタが起動していません。	ステータスマニタを起動してください。	58

付録・詳しい内容

Windows 98/95/NT4.0/2000 プリントソフトウェアについて

プリンタドライバを削除するには

注 削除する前に必ず「XL-1200 ステータスマニタ」および起動している他のアプリケーションを終了させてください。



Windows 98/95/NT4.0 では、〔マイコンピュータ〕〔プリンタ〕〔FUJITSU XL-1200〕アイコンを右クリックし、〔削除〕を選択します。

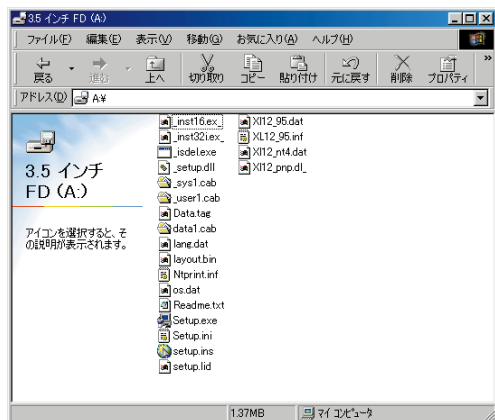
また Windows 2000 では、〔マイコンピュータ〕〔コントロールパネル〕〔プリンタ〕〔FUJITSU XL-1200〕アイコンを右クリックし、〔削除〕を選択します。〔プリンタの削除〕ダイアログで〔はい〕を選択します。

表示される画面の指示に従って、作業を進めます。

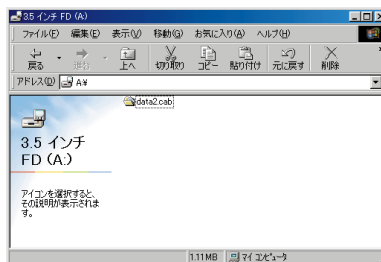
〔はい〕を選択し、Windows を再起動します。

プリンタドライバディスクの構成

ディスク 1



ディスク 2



- 注**
- ・ Readme.txt には、プリンタドライバを使用する上での、最新の注意事項が記述されています。必ずお読みください。
 - ・ 拡張子が .dll のファイルは隠しファイルになっているため、ウィンドウに表示されない場合があります。
 - ・ プリントドライバのバージョンアップ等により、ディスクの内容や容量が異なる場合があります。

プリンタドライバの主な機能

パソコンの画面からいろいろな印刷の設定ができます。

各画面には3つのボタンがあり、それぞれ以下のような機能を持っています。

全て標準 : 5つの画面内の設定を全て標準値に戻します。

標準 : 表示している画面の設定のみを標準値に戻します。

ヘルプ : 表示ダイアログのヘルプを表示します。

用紙

用紙サイズや給紙方法などを設定します。

用紙サイズ
用紙サイズを選択します。
ユーザ定義用紙は[用紙追加]ボタンをクリックして、設定できます。ここで定義されたサイズは、用紙サイズ一覧の最後尾に追加されます。最大で32の用紙サイズを登録することができます。

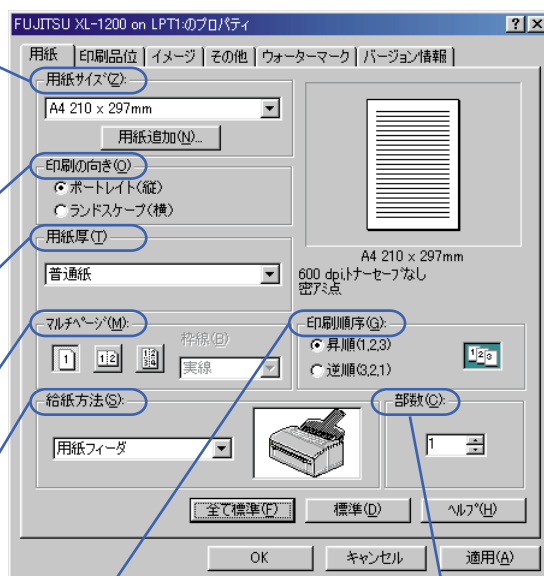
印刷の向き
印刷する用紙方向を指定します。

用紙厚
印刷する用紙の厚さを選択します。
用紙サイズを選択すると、自動的に最適なものが選択されます。

マルチページ
1枚の用紙に複数のページを縮小して印刷します。

給紙方法
給紙方法を選択します。
用紙サイズ、用紙厚に応じて自動変動します。

印刷順序
最初のページまたは最後のページから印刷するかを設定します。



部数
印刷する部数を1～99の範囲で設定します。



- ・「用紙サイズ」でA3 A4、B4 A4を選択した場合、印刷可能領域（余白領域）が変化します。
- ・用紙サイズを選択すると、自動的に最適な用紙厚が選択されます。印刷した用紙にしわが生じるときは、「薄い紙」の方へ、トナーの定着が悪いときは「厚い紙」の方へ設定を変えてください。変更した結果は記憶されます。出荷時の最適値に戻すには「標準」ボタンをクリックしてください。
- ・マルチページは次の用紙が選択されている場合に有効です。
A4、A5、A6、B5、レター

付録・詳しい内容



- ・マルチページ機能は、1ページの印刷領域内に2ページまたは4ページ分のデータを縮小して印刷しているだけで、用紙の中央が正確に合わない場合があります。印刷可能領域（余白領域）が多少異なります。綴じ代などについても考慮されておりませんのでご了承ください。
- ・枠線は印刷用紙の印刷可能範囲いっぱいに描画されますが、1枚の用紙に印刷される各ページの印刷可能範囲は、枠線と等しくありません。
- ・1枚に4ページ分の印刷を行う場合、ポートレート（縦）とランドスケープ（横）ではページの配置が異なります。

〔ユーザ定義サイズ〕

用紙サイズ一覧からユーザ定義サイズを選択すると、以下のダイアログが表示されます。

幅 ● 90mm～215.9mmの範囲で任意に設定することができます。

長さ ● 148mm～297.0mmの範囲で任意に設定することができます。

単位 ● 設定するサイズの長さの単位を選択します。

標準 ● 値を幅210.0mm、長さ297.0mm、単位ミリの標準値に戻します。

ユーザ定義サイズ

幅(W) : 210.0 [90.0 ~ 215.9]

長さ(L) : 297.0 [148.0 ~ 297.0]

単位: ☒ ミリ(M) ☐ インチ(I)

標準(D) OK キャンセル



「長さ」が「幅」よりも短い場合、その設定は無効となります。

〔ユーザ定義用紙〕

用紙タブで〔用紙追加〕ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。

リスト

登録した用紙の「名称」「幅」「長さ」「単位」を表示します。
ここに表示される名称が用紙サイズ一覧に追加されます

名称

登録する用紙名を半角12文字以内で入力します。(Windows NT4.0/2000の場合は、全半角12文字まで入力できます。)

幅

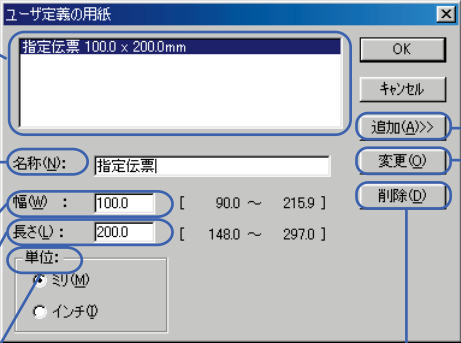
90mm～215.9mmの範囲で任意に設定することができます。

長さ

148mm～297.0mmの範囲で任意に設定することができます。

単位

設定する長さの単位を選択します。



削除

登録済みの用紙を選択すると有効になります。用紙を削除します。

変更

登録済み用紙の設定を変更すると有効になります。変更した内容で再度登録できます。

追加

「名称」に新規に入力すると有効になります。新規に用紙を登録すると、リスト内に追加されます。



「長さ」が「幅」よりも短い場合、その設定は無効となります。

付録・詳しい内容

印刷品位

解像度、トナーセーブ、印刷濃度の設定を行います。

解像度

600dpi、300dpiを選択します。

トナーセーブ

印刷に使用するトナーの節約割合を設定します。トナーセーブしない、トナーセーブ(濃い)、トナーセーブ(薄い)を選択します。

プリンタの印刷濃度

ドラッグバーを使い、印刷するときの濃さを5段階で設定します。



トナーセーブの設定時には、印刷品質は保証できませんのでご注意ください。



プリンタドライバで〔600dpi〕に設定した場合、複雑なグラフィックや写真などのイメージ、細かな文字を多く使用したページを印刷すると、まれにプリンタのメモリが不足することがあります。このような場合、メモリ不足を予測して、複雑なページに対して自動的に解像度を調整して印刷するオートマティックフォールダウン機能（自動低解像度印刷）が働きます。

複数のページを印刷した場合、オートマティックフォールダウン機能が働くのはメモリの不足が予測されるページのみであり、それ以外のページは設定した解像度で印刷されます。

イメージ

ディザリング、明暗、拡大・縮小などの設定を行います。

ディザリングのパターン

中間色の表現方法を設定します。

ディザリングの密度

ディザパターンを作成するときのドットの密度を設定します。

白以外を黒にする

白以外で設定された文字やグラフィックをディザリングせずに黒色にします。

明暗の調整

ドラッグバーを使い、ブライトネス（イメージ全体の明るさ）とコントラスト（明暗の差）を設定します。

印刷効果

イメージを反転させる場合に選択します。

拡大・縮小

拡大・縮小率を入力するか、リストボックスにあらかじめ用意されている拡大縮小率（25%～400%）を選択します。直接入力する場合は「カスタム」を選択してください。



- ・拡大・縮小機能は印刷データを拡大・縮小するもので、用紙サイズは変更されません。必要に応じて印刷する用紙サイズを設定してください。拡大・縮小により、印刷可能領域（余白領域）も変化します。
- ・「拡大・縮小」を設定すると、アプリケーションによっては予期しない結果になる場合があります。正しく印刷できないときは、「なし」に設定してください。
- ・「解像度」「ディザリングのパターン」「ディザリングの密度」「明暗の調整」の設定によって、文書のグラフィックスの印刷結果が総合的に決まります。場合によっては、希望する結果が得られるまで、これらの項目にいろいろな設定を試みる必要があります。

その他

APへのカラー機能の応答

プリンタのカラー処理情報を調べて、カラーデータの処理を変えるアプリケーションのための設定です。ディスプレイの表示に近い印刷結果を得るために使います。

図形の中塗りパターンの調整

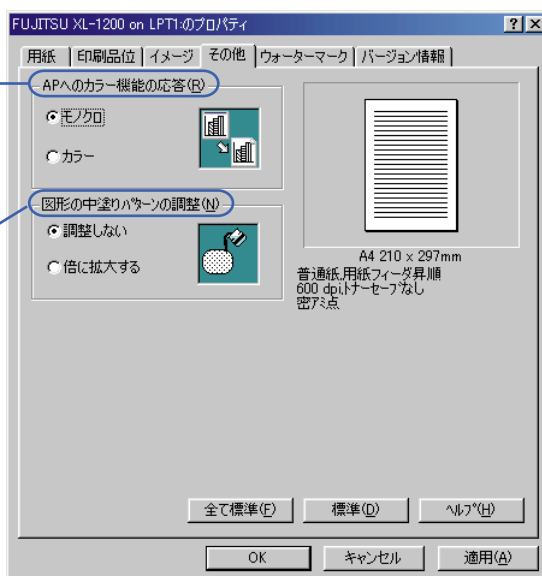
ハッチブラシ、パターンブラシを使用した場合の密度を選択します。中塗りのパターンは、カラー表現のディザリングとは異なります。

「調整しない」

解像度に関係なくハッチブラシ、パターンブラシのパターンは、そのまま使います。

「倍に拡大する」

解像度に関係なくハッチブラシ、パターンブラシのパターンは、倍にして使います。



ウォーターマーク

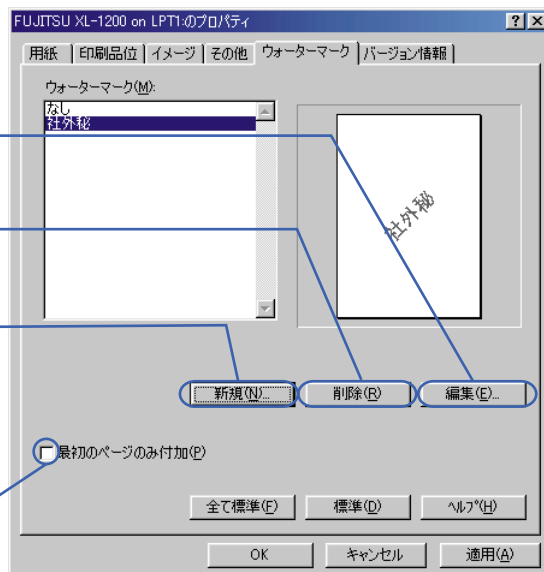
印刷結果にイメージ(ウォーターマーク)を重ね合せる場合に設定します。〔新規〕を選択すると、〔ウォーターマーク〕ダイアログが表示されます。

編集
登録したウォーターマークを編集します。

削除
登録したウォーターマークを削除します。

新規
文字列、フォント、スタイルなどを入力し、新規にウォーターマークを作成します。最大で16のウォーターマークを登録することができます。

最初のページのみ付加
チェックすると印刷する先頭ページのみウォーターマークを付加します。



ウォーターマーク
重ね合わせる文字列やそのフォント、スタイルを設定します。

「文字列」

重ね合わせる文字列を指定します。
ここで指定した文字列が登録名となります。
最高で半角63文字 (Windows NT4.0/2000の場合、全半角63文字) まで指定できます。

「フォント」

文字列のフォントを指定します。

「スタイル」

文字列のスタイルを指定します。

ウォーターマークの調節

文字列のサイズや傾き、色の濃さを設定します。

「サイズ」

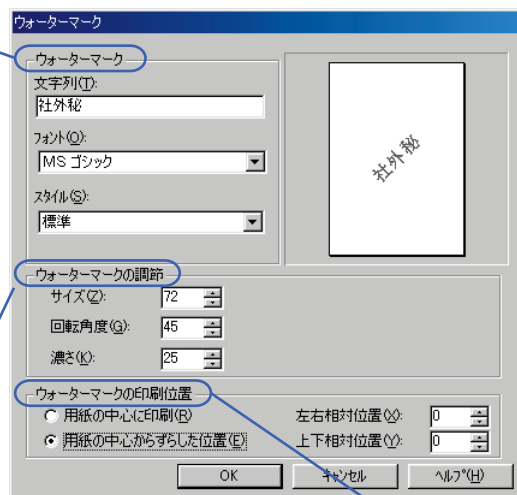
文字列の文字サイズを1～600の範囲で指定します。

「回転角度」

文字列の傾きを0°～359°の範囲で指定します。0°で水平になります。

「濃さ」

ウォーターマークの濃さを0～100の範囲で指定します。0で白(印刷しない)、100で黒になります。



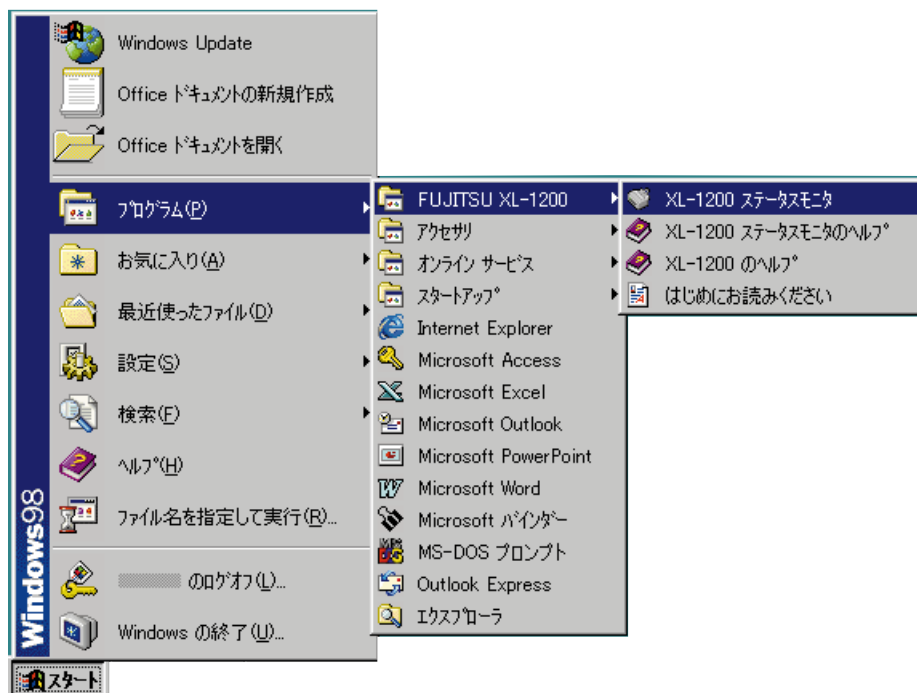
ウォーターマークの印刷位置
ウォーターマークの印刷位置を指定します。

ステータスマニタについて

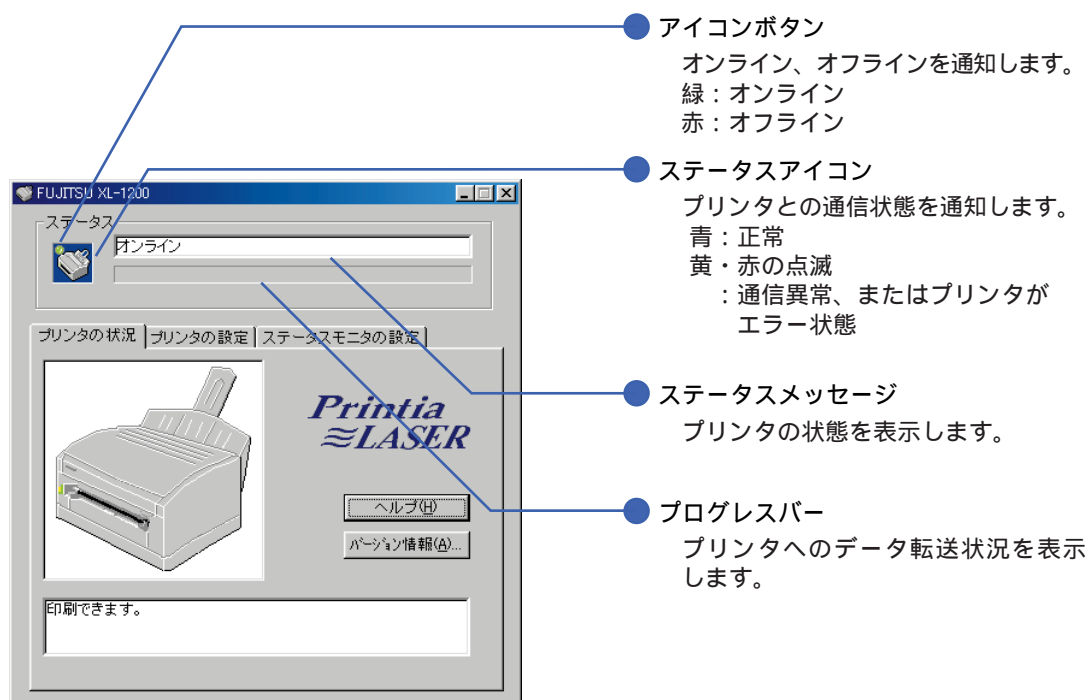
パソコンの画面から、プリンタの状況の確認や、プリンタの設定などができます。

起動方法

〔スタート〕 〔プログラム〕 〔FUJITSU XL-1200〕 〔XL-1200 ステータスマニタ〕をクリックします。



主な機能



ステータスマニタを起動すると、タスクバー内にもアイコンが表示され、ステータスアイコンと同じ状態を表示します。



付録・詳しい内容

プリンタの状況

プリンタの状況を文字とグラフィックでわかりやすく表示します。

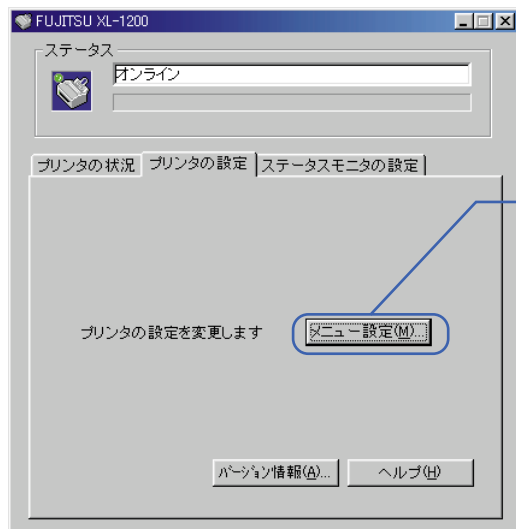


● ステータスピットマップ
プリンタの状態をグラフィックで表示します。

● 詳細メッセージ
プリンタの状態を文字で表示します。
エラーが発生した場合は、対処方法も表示します。

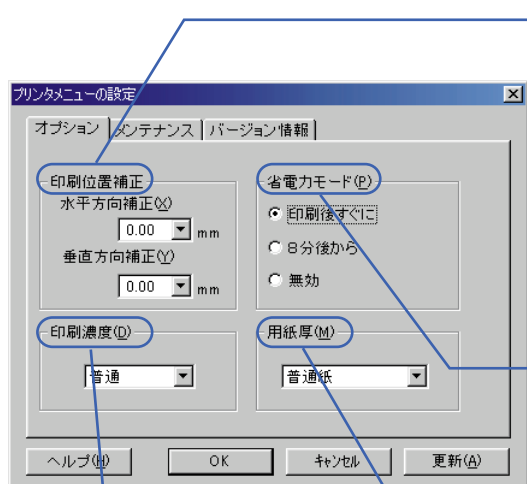
プリンタの設定

〔メニュー設定〕をクリックして、〔プリンタメニューの設定〕ダイアログを表示させます。〔オプション〕タブでは、省電力モードなどの設定を行います。〔メンテナンス〕タブでは、ドラムカウントのクリアなどを行います。



● メニュー設定
プリンタに関する設定を行います。

〔オプション〕



印刷位置補正

プリンタ側で印刷位置をずらしたい場合に設定します。

「水平方向補正」

用紙の短辺方向の調整を行います。0.25mm間隔で-2mm～2mmの範囲で設定することができます。

「垂直方向補正」

用紙の長辺方向の調整を行います。0.25mm間隔で-2mm～2mmの範囲で設定することができます。

省電力モード

印刷完了後、省電力モードへ移行する時間を設定します。

「無効」を選択した場合は、省電力モードへ移行しません。

用紙厚

印刷する用紙の厚さを設定します。

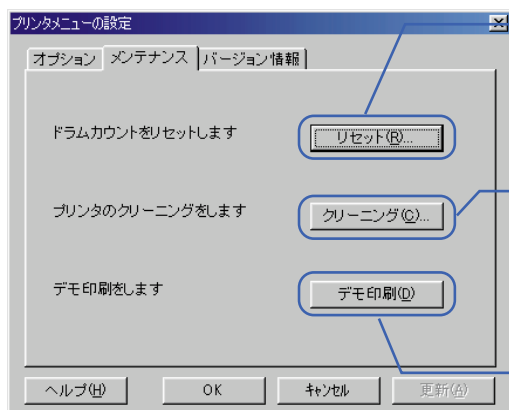
印刷濃度

印刷の濃さを調整します。



- ・「更新」をクリックせずに他のタブへ移行した場合、オプションタブでの変更は無効となります。
- ・印刷濃度、用紙厚の設定はプリンタドライバでの設定が優先されます。ここでの設定とプリンタドライバでの設定が一致した場合、若干処理が速くなります。通常使う設定にしておくことをおすすめします。

〔メンテナンス〕



リセット

プロセスカートリッジの使用カウントをリセットします。プロセスカートリッジを交換したときにクリックしてください。(P.38)

クリーニング

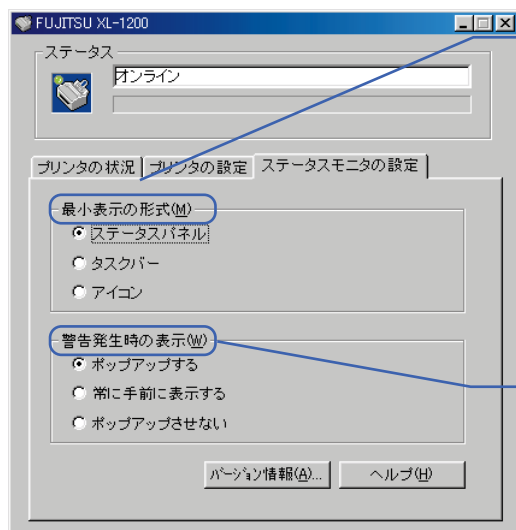
プリンタ内部のローラに付着した汚れをとる場合に使用します。(P.41)

デモ印刷

プリンタのテスト印刷を行います。

ステータスマニタの設定

ステータスマニタの表示形式を設定します。



最小表示の形式

ステータスマニタを最小化した場合の表示形式を設定します。

「ステータスパネル」

ステータスパネル部分だけが表示されます。

「タスクバー」

タスクバーに格納されます。

「アイコン」

タスクバーにアイコンが表示され、プリンタの状態を表します。

警告発生時の表示

プリンタにエラーが発生した場合にステータスマニタを表示する位置を設定します。

「ポップアップする」

プリンタでエラーが発生すると、最前面に表示されます。

「常に手前に表示する」

常に最前面に表示されます。

「ポップアップさせない」

プリンタでエラーが発生しても、ポップアップ表示はしません。

印刷可能領域について

プリンタドライバの印刷可能領域は次のようになっています。

(単位：mm)

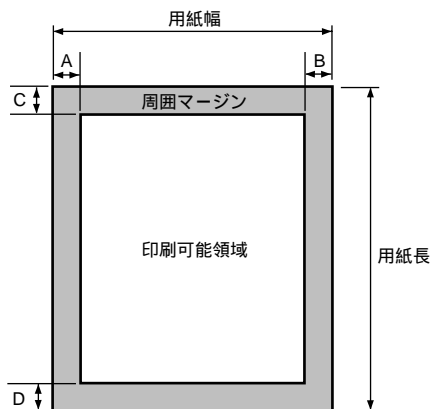
用紙	用紙長	用紙幅	周囲マージン 注1)	
			A,C	B,D
A4	297.0	210.0	6.35	7.0
A5	210.0	148.0	6.35	7.0
A6	148.0	105.0	6.35	7.0
B5	257.0	182.0	6.35	7.0
フリー 注2)	297.0	210.0	6.35	7.0
レター	279.4	215.9	6.35	7.0
ハガキ	148.0	100.0	6.35	7.0

注1) 〔印刷の向き〕を〔ランドスケープ〕に設定した場合は、AとBの値が入れ替わります。

注2) この値はデフォルト値です。用紙長 148 ~ 297mm、用紙幅 90 ~ 215.9mm の範囲で設定できます。



アプリケーションによっては、印刷可能領域が小さくなる可能性があります。



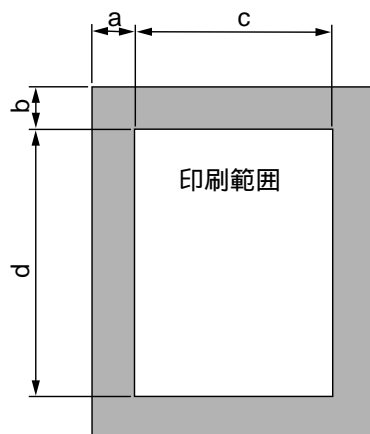
自動低解像度印刷について

600dpiで印刷する場合、複雑なグラフィックスや細かな文字を多く使用したページを印刷するとプリンタのメモリが不足することがあります。このような場合、プリンタドライバでは、複雑なページに対して自動的に解像度を下げて印刷するオートマティックフォールダウン機能が働きます。複数ページを印刷した場合、オートマティックフォールダウン機能が実行されるのは複雑なページのみであり、それ以外のページは600dpiで印刷されます。

印刷精度について

XL-1200 の印刷位置精度は次の範囲です。

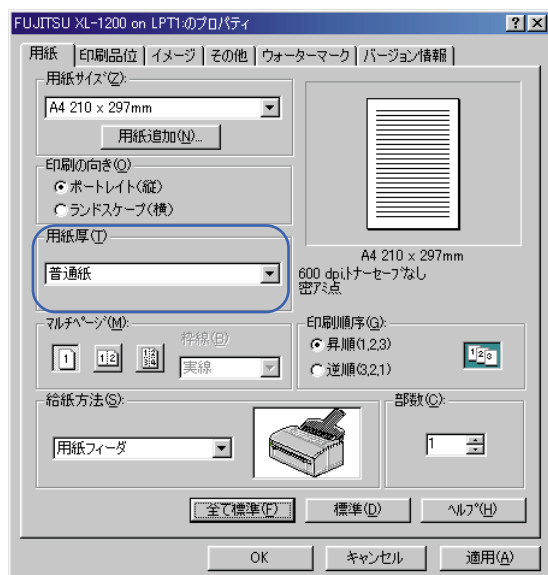
- 書き出し位置精度 (a,b) ± 2.0mm
 - 画像伸縮 (c,d) ± 1mm/100mm
 - 用紙の斜行 ± 1mm/100mm
- (用紙フィーダからの印刷時)



用紙厚の調整について

最良な印刷品質を得るためには、用紙厚さに応じた調整が必要です。設定はパソコンで行います。

用紙厚さ	内容
薄い紙	普通紙でしわが出るときに設定してください。
普通紙	普通紙 (55kg)
やや厚い紙	厚紙 (75kg)
厚い紙	厚紙 (75~90kg)
より厚い紙	厚紙 (90kg)、ハガキ、ラベル紙
OHP用紙	OHPシート



以下の手順で、ドライバのタブ・シートを表示します。

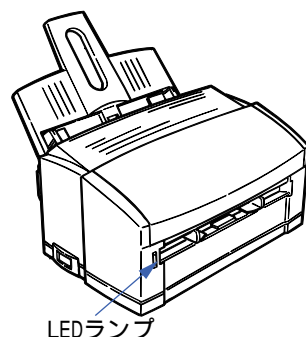
Windows 98/95では、〔マイコンピュータ〕〔プリンタ〕〔FUJITSU XL-1200〕を右クリックし、〔プロパティ〕を選択します。

Windows NT4.0では、〔マイコンピュータ〕〔プリンタ〕〔FUJITSU XL-1200〕アイコンを右クリックし、〔ドキュメントの既定値〕を選択します。

Windows 2000では、〔マイコンピュータ〕〔コントロールパネル〕〔プリンタ〕〔FUJITSU XL-1200〕アイコンを右クリックし、〔プロパティ〕〔印刷設定〕を選択します。〔用紙〕タブで〔用紙厚〕を設定します。

LED ランプ表示について

ランプの状態	内 容
点灯	電源オン
消灯	電源オフ
ゆっくりと点滅 (1秒間に1回)	データ受信中、または印刷中。 上記以外の状態でゆっくり点滅する場合は通信上の問題が生じています。
速く点滅	・アラームが生じています。 ・紙づまり、用紙フィードに用紙がありません。 ・カバーが開いています。



用紙について

添付の「用紙について」に、より詳しい注意事項が記載されています。必ずご一読ください。

使用できる用紙サイズと給紙方法

用紙の種類		サイズ	給紙方法		厚さ・備考
		単位：mm(インチ)	用紙フィーダ	手差し	
普通紙	A4	210×297	○	○	連量55～90kg (64～105g/m ²)
	A5	148×210	○	○	
	A6	105×148	×	○	
	B5	182×257	○	○	
	レター	215.9×279.4	○	○	
	フリー	長さ：148～297.0 幅：90～215.9	×	○	
ハガキ	官製ハガキ	100×148	×	○	ハガキガイドを使用
OHPシート	A4	210×297	×	○	
ラベル紙	A4	210×297	×	○	

用紙に関する注意

- ・熱転写プリンタ用、湿式PPC用紙、和紙などの使用はさけてください。
- ・薄すぎる用紙や厚すぎる用紙、カット面に凹凸やつぶれ、バリなどがある用紙、切り込みやしわ、反り、角の折れ曲がり、孔などがある用紙は使用しないでください。
- ・表面が粗い用紙や、表面に絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙は使用しないでください。
- ・カールしている用紙や、静電気で密着している用紙は使用しないでください。
- ・インクに導電材料（金属やカーボンなど）を使用したプレプリント用紙は使用しないでください。
- ・両面印刷はしないでください。
- ・一度印刷を行った用紙は使用しないでください。
- ・用紙フィーダにサイズや質の異なる用紙を一緒に入れないでください。
- ・用紙はご購入時、湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後はなるべく早めにご使用ください。
- ・OHPシート、ラベル紙およびA6、フリーサイズの用紙は、必ず手差しで印刷してください。
- ・ハガキは必ずハガキガイドを使用してください。

注 用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷をし、支障がないことを確認することをお勧めします。市販の用紙のなかには、本プリンタに適さないものがあります。

特殊な用紙について

ハガキ

- ・必ずハガキガイドを使用して印刷してください。
- ・官製ハガキを使用してください。私製ハガキは保証外です。
- ・写真加工のしてあるハガキは使用しないでください。
- ・2mm 以上反りのあるハガキ、切手を貼ったハガキは使用できません。
- ・ハガキ全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄くなることがあります。
- ・ハガキを連続で大量印刷した場合には、トナーの定着性が低下することがあります。
- ・印刷後は 20mm 程度のカールが発生したり、スジがつくことがあります。

OHP シート

- ・必ず手差しで印刷してください。
- ・耐熱性乾式コピー（PPC）用またはレーザープリンタ用の OHP シートを使用してください。
- ・耐熱仕様でない OHP シートは使用しないでください。（使用するとプリンタが故障することがあります）
- ・用紙厚は〔OHP 用紙〕に設定してください。他の用紙厚を設定すると、印刷品位が著しく低下することがあります。
- ・用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。

ラベル紙

- ・必ず手差しで印刷してください。
- ・耐熱性乾式コピー（PPC）用またはレーザープリンタ用で、紙質は普通紙と同等の用紙を使用してください。
- ・部分的に剥離してある用紙、用紙端までのカットラインのある用紙は使用しないでください。
- ・用紙厚は〔より厚い紙〕に設定してください。他の用紙厚を設定すると、印刷品位が著しく低下することがあります。

サプライ用品

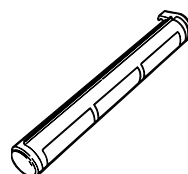
これらのサプライ用品は本プリンタをお買求めの販売店または富士通コワーコへご相談ください。富士通コワーコの担当窓口、お問い合わせ先は、「サプライ用品担当窓口一覧」(P.73)をご参照ください。



- ・トナーカートリッジ、プロセスカートリッジは必ず純正品を使用してください。純正品以外を使用するとプリンタが故障するおそれがあります。
- ・トナーカートリッジ、プロセスカートリッジは開封後1年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品をご準備ください。

トナーカートリッジ

品名	商品番号	内容
トナーカートリッジ LB106	0881110	トナーカートリッジ LEDレンズクリーナー



交換の目安

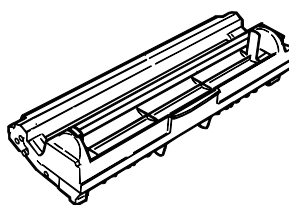
トナーカートリッジ交換の目安は、5%の印刷密度(1ページの印刷可能領域でトナーのついている面積の割合)の場合、A4サイズ用の紙で約1,500枚です。ただし、新しいプロセスカートリッジに1本目のトナーカートリッジを取りつけたときは約600枚になります。

保管方法

- ・お使いになるまでは、開封しないでください。
- ・直射日光をさけ、次の温度、湿度の範囲にある場所で保管してください。
温度：0～35度、湿度：30～85%RH
- ・周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所はさけてください。
- ・幼児の手が届かない所に保管してください。

プロセスカートリッジ

品名	商品番号	内容
プロセスカートリッジ LB106	0881410	プロセスカートリッジ



使用済みプロセスカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みプロセスカートリッジを無償で回収しております。

下記の『エコ受付センター』までご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』

フリーダイヤル：0120-30-0693

平日 8:40～12:00 および 13:00～17:00

(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)

付録・詳しい内容

プロセスカートリッジの交換の目安

プロセスカートリッジ交換の目安は、A4 サイズの用紙で約 10,000 枚です。ただし、約 10,000 枚というのは、A4 サイズを連続印刷した場合の枚数です。一度印刷するとプロセスカートリッジは空回転をするため、一度に 1 枚ずつ印刷する場合、プロセスカートリッジの寿命の枚数は約半数になります。

保管方法

- ・お使いになるまでは、開封しないでください。
- ・直射日光をさけ、次の温度、湿度の範囲にある場所で保管してください。
温度：0 ~ 35 、湿度：30 ~ 85%RH
- ・アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所、空気中に塩分が多量に含まれている場所はさけてください。
- ・立てたり、裏返したりしておかないでください。
- ・周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所はさけてください。
- ・幼児の手が届かない所に保管してください。

用紙

商品名	商品番号	備考
オフィス用紙W A4	0411610	500枚×5冊/1ケース
〃 A5	0411630	
〃 B5	0411650	
〃 レター	0411660	
再生オフィス用紙 A4	0414312	
〃 B5	0414342	

本プリンタではレーザープリンタ用紙あるいは乾式複写用紙（PPC 用紙）を使用できますが、より良い印刷品質が得られるよう、上記の推奨紙のご使用をお勧めします。推奨紙以外の用紙をお使いになるときは、試し印刷を行い、印刷品位、用紙走行性に問題がないことを確認されてから購入することをお勧めいたします。

保管方法

- ・お使いになるまでは、開封しないでください。
- ・直射日光をさけ、次のような場所で保管してください。
暗く、湿気の少ない平らな場所（例：書棚の中）
平らなパレットの上
温度：20 、湿度：50%RH の環境
- ・次のような場所には、保管しないでください。
床の上に直接置く
外壁の内側近くや段差、曲がりのある場所
静電気が発生する場所
過度に温度が上昇したり、急激に温度が変化する場所
複写機、空調機、ヒーター、ダクトなどのそば
- ・開封後の残りの用紙は、包装紙に包んで水平に保管してください。
- ・プリンタを使用しないときは、用紙フィードから用紙を抜き取り、包装紙に包んで保管してください。

プリンタを輸送するとき

使用開始後のプリンタを輸送する場合は、下記の手順に従って再梱包してください。

トナーカートリッジがセットされたままのプロセスカートリッジをプリンタから取り外し、添付されているポリエチレン袋（黒）に入れます。

プロセスカートリッジをポリエチレン袋（黒）に入れたまま、プリンタに取り付けます。

用紙フィーダ、ハガキガイドをプリンタから外します。

手差しガイドを中央に寄せます。

プリンタを再梱包します。

注 一度使用したプロセスカートリッジ、トナーカートリッジの輸送は、プリンタ内部を汚すおそれがありますので、なるべく避けてください。

使用済みプロセスカートリッジ・トナーカートリッジの回収について

富士通株式会社では、地球環境保全の立場からリサイクルを推進しております。『プロセスカートリッジ』および『トナーカートリッジ』につきましても環境保全を目的とし、『無償回収サービス』を実施しておりますので、ご協力をお願いします。

『無償回収サービス』のご利用にあたっては、初回にユーザ登録が必要です。恐れ入りますが『プロセスカートリッジ』および『トナーカートリッジ』をご購入の販売店にお申し付けいただき、ユーザ登録をお済ませください。なお、ご利用対象は法人企業様に限定させていただいております。

プリンタの仕様

項目	内容
印刷方式	LED（発光ダイオード）を露光光源とする電子写真記録方式
印刷速度 （連続コピー最大）	約8枚/分*（A4サイズ） * ・自動クリーニング動作にかかる時間は除きます。（8枚ごとにクリーニング） ・ハガキ、OHPシート、ラベル紙への印刷では、A4サイズ換算で約6枚/分となります。
メモリ	2MB
解像度	600×600ドット/インチ
用紙サイズ	A4、A5、A6*、B5、フリー*、レター、ハガキ* *は手差しによる給紙のみ対応しています。
用紙種類	普通紙（55～90kg）、ハガキ、OHPシート、ラベル紙
給紙方法	用紙フィーダによる自動給紙（55kg紙100枚） 手差しによる1枚給紙
排紙方式	フェイスアップ
電源	AC100V±10V
電源周波数	50/60 Hz±1Hz
消費電力	定格 450W 印刷時平均 約170W 待機時平均 約 30W パワーセーブ時 約5W
外形寸法	奥行き 208mm / 幅 324mm / 高さ 171mm （ただし、用紙フィーダ、ハガキガイドなどの突起部を除く）
重量	約4.2Kg
OS	Windows 98日本語版、Windows 95日本語版、Windows NT4.0日本語版 Windows 2000日本語版
インタフェース	IEEE 1284 準拠パラレルインタフェース
パソコン	IBM PC/AT互換機
使用環境条件	温度 10～32℃、湿度 20～80%RH
標準使用条件	500枚/月
装置寿命	30,000枚または5年

インタフェースの仕様

パラレルインタフェース仕様

基本仕様 IEEE1284 に準拠した双方向パラレルインタフェース

コネクタ プリンタ側 36 極コネクタ(メス) 57RE-40360-730B-D29A(第一電子製)相当

ケーブル側 36 極コネクタ(オス) 57FE-30360-20N(D8)(第一電子製)相当

ケーブル IEEE1284 に準拠した 1.5m 以下の双方向パラレルインタフェースケーブルを使用してください。

インタフェースレベル

ローレベル +0.0 ~ +0.4V / ハイレベル +2.4 ~ +5.0V

パラレルインタフェース信号

ピンNo.	信号名	方 向	機 能
1	Strobe	•PRINTER	データ転送の制御に使われます。
2	Data 1	↔ PRINTER	8ビットのパラレルデータです。 ハイレベルが"1"、ローレベルが"0"です。
3	Data 2		
4	Data 3		
5	Data 4		
6	Data 5		
7	Data 6		
8	Data 7		
9	Data 8		
10	Ack	◀ PRINTER	データ転送の制御に使われます。
11	Busy	◀ PRINTER	データ転送の制御に使われます。
12	PError	◀ PRINTER	データ転送の制御に使われます。
13	Select	◀ PRINTER	データ転送の制御に使われます。
14	AutoFd	•PRINTER	データ転送の制御に使われます。
15	—	—	使用していません。
16	SG	—	グラント*
17	FG	—	シャージグラント*
18	+5V Signal	—	電源 (最大50mA)
19~30	-RET	—	グラント*
31	Init	•PRINTER	ローレベルが約50μS以上連続すると、プリンタが初期化されます。50μS以下でも有効になることがあります。
32	Fault	◀ PRINTER	データ転送の制御に使われます。
33	-RET	—	グラント*
34	—	—	使用していません。
35	HILEVEL	◀ PRINTER	プリンタ内部で3.3KΩで+5Vにプルアップされています。
36	SelectIn	•PRINTER	データ転送の制御に使われます。

* : 信号名に $\overline{\hspace{1cm}}$ のついたものは、負論理信号であることを表わします。

保守・サービス

プリンタドライバのダウンロードサービス

最新版のプリンタドライバをインターネット上でご提供するサービスです。
下記の手順に従ってプリンタドライバをご入手ください。(2000年4月現在)



アフターサービスについて

- ・ お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保存してください。
- ・ 保証書は、日本国内でのみ有効です。
- ・ 無償保証期間は、お買い上げ日より6か月です。詳細は保証書をご覧ください。
- ・ 保守部品の供給期間は、このプリンタの製造中止後6年です。ご了承ください。
- ・ 分解、改造などをしないでください。無償保証期間内でも、無償修理を受けられないことがあります。
- ・ プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。サプライ品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作、および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・ 操作、機能について不明な点、修理のご相談は、お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。詳細は、修理・サービス網一覧(P.75)をご覧ください。

持ち込み修理時のお願い

持ち込み修理にあたっては、必ず修理・サービス網一覧(P.75)をご参照の上、パーソナルエコーセンターへご連絡ください。最寄りの修理窓口『富士通パーソナルサービスセンター』をご案内いたします。

持ち込みに際しましては、下記の通りにプリンタを梱包していただきますようお願いいたします。

- ・ プリンタ : 必ずプリンタ本体からプロセスカートリッジ(トナーカートリッジ付き)を取り外して、プリンタ本体のみをお持ちいただきますようお願いいたします。
- ・ 取り外したプロセスカートリッジ
: 取り外したプロセスカートリッジは、添付されているポリエチレン袋(黒)に入れて、直射日光を避けて保管してください。
- ・ 他の添付品 : 装置より外した上、保管してください。



- ・ プロセスカートリッジを取り外さずにお持ち込みになりますと、装置内にトナーが飛散することがあります。
- ・ 修理品の持ち込み時にお客様のお取り扱い不備によりトナーが飛散した場合は、修理に長時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

サプライ用品担当窓口一覧

サプライ用品に関するお問い合わせ先：

富士通コワーコ(株) 営業推進本部 商品企画部 03-3342-5375

(〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビルディング 20 階)

『富士通コワーコ(株) 担当窓口』 1999 年 10 月 1 日現在

支店	電話番号	住 所
北海道支店	011-221-3966	〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 2-1 札幌時計台ビル 10 階
盛岡支店	019-626-4773	〒020-0033 盛岡市盛岡駅前北通り 1-10 東京生命盛岡ビル 5 階
東北支店	022-267-6871	〒980-0811 仙台市青葉区 1 番町 2-3-22 仙台ビルディング 5 階
福島支店	024-921-1819	〒963-8001 郡山市大町 1-14-1 協栄生命郡山ビル 5 階
山形出張所	023-641-9766	〒990-0043 山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 7 階
宇都宮支店	028-638-8701	〒321-0953 宇都宮市東宿郷 4-2-24 センターズ・ビルディング 5 階
北関東支店	048-643-4080	〒331-0851 大宮市錦町 682-2 大宮情報文化センター 13 階
群馬支店	027-328-1621	〒370-0841 高崎市栄町 14-5 内堀ビル 4 階
千葉支店	043-245-0088	〒260-0025 千葉市中央区問屋町 1-35 千葉ポートサイドタワー 26 階
多摩支店	03-3342-6310	〒160-0023 新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビルディング 21 階
横浜支店	045-314-9581	〒220-0005 横浜市西区南幸 2-20-5 東伸 24 ビル 7 階
川崎支店	044-244-4450	〒210-0005 川崎市川崎区東田町 8 パレール三井ビルディング 8 階
新潟支店	025-225-7730	〒951-8055 新潟市礎町通二の町 2077 朝日生命万代橋ビル 3 階
静岡支店	054-203-0040	〒422-8067 静岡市南町 18-1 サウスポット静岡 12 階
浜松出張所	053-458-5124	〒430-0927 浜松市旭町 11-1 プレスタワービル 10 階
名古屋支店	052-204-1245	〒460-0008 名古屋市中区栄 2-4-18 岡谷ビルディング 5 階
三河支店	0566-27-1191	〒448-0027 刈谷市相生町 1-31 第 5 セントラルビル 2 階

付録・詳しい内容

支店	電話番号	住 所
長野支店	026-224-1380	〒 380-0936 長野市岡田町 215-1 日本生命長野ビル 4 階
富山支店	076-433-2527	〒 930-0005 富山市新桜町 2-21 富士通ビル 5 階
北陸支店	076-232-2471	〒 920-0918 金沢市尾山町 1-8 朝日生命金沢ビル 3 階
京都支店	075-222-1184	〒 604-8171 京都市中京区烏丸通御池下ル虎屋町 566-1 井門明治生命ビル
大阪支店	06-6881-6800	〒 530-6007 大阪市北区天満橋 1-8-30 OAP タワー 7 階
神戸支店	078-392-2561	〒 650-0033 神戸市中央区江戸町 95 番地 リクルート神戸ビル 7 階
岡山支店	086-233-7441	〒 700-0826 岡山市磨屋町 10-12 交通オアシスビル 6 階
広島支店	082-567-6790	〒 732-0814 広島市南区段原南 1-3-53 広島イーストビル 13 階
松江出張所	0852-25-0313	〒 690-0826 松江市学園南 2-10-14
四国支店	087-851-1822	〒 760-0023 高松市寿町 2-1-1 高松第一生命ビル 新館 6 階
松山出張所	089-946-4033	〒 790-0022 松山市永代町 13 番地 松山第 2 電気ビル 6 階 富士通（株）松山支 店内
九州支店	092-451-2433	〒 812-0011 福岡市博多区博多駅前 2-20-1 大博多ビル 5 階
北九州出張所	093-531-7365	〒 802-0003 北九州市小倉北区米町 2-2-1 新小倉ビル 3 階
南九州支店	099-225-6290	〒 892-0844 鹿児島市山之口町 2-30 鹿児島第一・海上ビル 8 階

修理・サービス網一覧

1999 年 10 月現在

日本国内でご購入されました F M シリーズの修理・保守およびハード・ソフトのサポートは日本国内のみに限らせて頂いております。日本国内以外での装置およびソフト等のトラブルに対するサービスは行っておりませんので、あらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます。

電話番号をよくご確認のうえ、正確にダイヤルくださいますようお願い致します。

ご相談窓口の名称、電話番号、所在地等の内容については、都合により予告なく変更になる場合がございますが、その節はご容赦ください。

本紙の記載内容は 1999 年 10 月現在のものです。

最新情報につきましては、インターネット富士通パソコン情報ページ「F M WORLD」をご覧ください。

アドレス <http://www.fmwORLD.ne.jp/>

F M シリーズに関するご質問、ご相談等を下記窓口にて承っております。

故障・修理のご質問・ご相談

商品の品質管理には万全を期しておりますが、修理の必要が生じた場合には、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、富士通では故障 / 修理に関するご相談窓口『パーソナルエコーセンター』を設置しております。フリーダイヤルにてお問い合わせください。修理が必要な場合には、最寄りの修理窓口『富士通パーソナルサービスセンター』をご案内します。

故障の際には、装置の正確な型名（保証書に記入してあります）でお問い合わせくださいますようお願いいたします。また、お客様の名前・電話番号・住所等をお聞きする場合がございます。修理にはお持ち込みいただいてから 2 週間程度の、場合によってはそれ以上の日数を要する場合がございます。あらかじめご了承ください。なお、故障内容によりましては、お客様のデータの保存について保証いたしかねる場合がございます。

保証期間内の場合、保証書を必ずお持ちくださるようお願いいたします。

電話ご相談窓口「パーソナルエコーセンター」

電話番号：0120-49-7038（フリーダイヤル）

おかけ間違いのないよう、ご注意ください。

営業時間 月～土 / 9:00～17:00

日・祝日 / 9:00～12:00、13:00～17:00（当社指定休日を除く）

最新のパーソナルサービスセンターの住所・地図等は、「富士通パーソナルエコーセンター F A X 音声情報サービス」にてご案内しております。

電話番号：044-777-8000

おかけ間違いのないよう、ご注意ください。（24 時間自動音声対応）

FAX サービスをご利用の場合は、下記表内の「資料 No」をご参照ください。

電話が混み合っている場合は、おそれいりますが、しばらく時間を置いてからおかけ直しください。

付録・詳しい内容

修理窓口「富士通パーソナルサービスセンター」

各センターは、Fsas 情報サ-ビス「SOHO'S」内、および「PFU パソコンサポーター」内に設置
営業時間（下記表の地区名欄をご参照ください。）

印：毎日 / 9:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:00（当社指定休日を除く）

印：以下の営業時間となります。（いずれも当社指定休日を除く）

・秋葉原 毎日 / 10:00 ~ 18:00

・新宿 毎日 / 9:00 ~ 17:00

・立川 毎日 / 9:00 ~ 17:00

・川崎 毎日 / 10:00 ~ 18:00

・厚木 毎日 / 10:00 ~ 18:00

・名古屋 月~土 / 10:00 ~ 18:00、日・祝 / 10:00 ~ 17:00

・堂島 月~金 / 10:00 ~ 19:00、土・日・祝 / 10:00 ~ 17:00

・福岡 月~金 / 10:00 ~ 19:00、土・日・祝 / 10:00 ~ 17:00

印・印・無印：月~金 / 9:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:00（日・祝日休業）
土曜日 / 印：17時まで 印：12時まで 無印：休業

印・印：月~金 / 9:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 19:00（日・祝日休業）
土曜日 / 印：19時まで 印：休業

実際の営業時間、休日などは地区により異なる場合がございます。

詳細は「富士通パーソナルエコーセンター」でご確認ください。

また、名称・所在地は都合により変更になる場合がございますのであらかじめご了承ください。

地区名	郵便番号	所在地	資料 No
札幌	〒060-0061	札幌市中央区南1条西8-10-3（サウス・ウエストビル2階）	0101
札幌	〒065-0011	札幌市東区北11条東6-29-26	0103
旭川	〒070-0034	旭川市四条通8-1703-12（日本生命旭川四条通ビル5階）	0102
秋田	〒010-0001	秋田市中通2-3-8（アトリオン8階）	0201
秋田	〒010-0951	秋田市山王3-5-26	0202
青森	〒030-0861	青森市長島2-13-1（明治生命青森ビル5階）	0301
青森	〒030-0852	青森市大字大野字前田63-29	0302
八戸	〒039-1104	八戸市田面木字上田面木41-4（サンシャイン壱番館1階）	0303
岩手	〒020-0021	盛岡市中央通3-1-2（盛岡第一生命ビル3階）	0401
岩手	〒020-0866	盛岡市本宮4-3-5	0402
仙台	〒980-0811	仙台市青葉区一番町3-3-5（仙台青葉通ビル2階）	0501
仙台	〒983-0852	仙台市宮城野区榴岡4-4-13	0502
山形	〒990-0039	山形市香澄町3-1-7（朝日生命山形ビル9階）	0601
福島	〒960-8035	福島市本町5-5（殖産銀行フコク生命ビル5階）	0701
郡山	〒963-8001	郡山市大町1-14-1（協栄生命郡山ビル4階）	0702
郡山	〒963-8841	郡山市山崎408-12	0703
新潟	〒951-8055	新潟市礎町二ノ町2077（朝日生命新潟万代橋ビル2階）	0801
新潟	〒950-0087	新潟市東大通1-4-1（マルタケビル3階）	0803
上越	〒943-0824	上越市北城町3-1-21（高助北城ビル1階）	0802
長岡	〒940-0066	長岡市東坂之上町2-1-1（三井生命長岡ビル6階）	0804

地区名	郵便番号	所在地	資料No
富 山	〒 930-0005	富山市新桜町 2-21 (富士通ビル 3 階)	0901
高 岡	〒 933-0021	高岡市下関町 4-5 (北陸読売文化会館 6 階)	0902
金 沢	〒 920-0918	金沢市尾山町 1-8 (朝日生命金沢ビル 2 階)	1001
金 沢	〒 920-0031	金沢市広岡 1-2-20 (毎日新聞北陸ビル 7 階)	1002
福 井	〒 910-0006	福井市中央 1-3-1 (加藤ビル 5 階)	1101
長 野	〒 380-0823	長野市南千歳 1-12-7 (新正和ビル 3 階)	1201
長 野	〒 380-0835	長野市新田町 1508-2 (明治生命長野ビル 8 階)	1203
松 本	〒 390-0815	松本市深志 1-4-25 (松本フコク生命駅前ビル 3 階)	1202
宇都宮	〒 321-0953	宇都宮市東宿郷 4-2-24 (センターズビル 5 階)	1301
小 山	〒 323-0022	小山市駅東通り 2-37-3 (住友生命小山ビル 5 階)	1302
高 崎	〒 370-0045	高崎市東町 80 番地 (群馬トヨタビル 7 階)	1401
太 田	〒 373-0851	太田市飯田町 1053 (O K ビル 3 階)	1402
大 宮	〒 330-0802	大宮市宮町 2-35 (大宮MTビル 6 階)	1501
大 宮	〒 330-0844	大宮市下町 1-50 (まつかめビル 5 階)	1504
所 沢	〒 359-1124	所沢市東住吉 7-8 (千代田生命所沢ビル 2 階)	1502
熊 谷	〒 360-0036	熊谷市桜木町 1-1-1 (秩父鉄道熊谷ビル 2 階)	1503
つくば	〒 305-0032	つくば市竹園 2-16-27 (竹園坂入ビル 1 階)	1601
水 戸	〒 310-0062	水戸市大町 1-2-40 (朝日生命水戸ビル 1 階)	1602
水 戸	〒 310-0803	水戸市城南 1-2-10 (水戸城南ビル 7 階)	1603
土 浦	〒 300-0045	土浦市文京町 3-6 (遠山ビル 2 階)	1604
柏	〒 277-0005	柏市柏 4-5-10 (サンプラザビル 3 階)	1701
柏	〒 277-0011	柏市東上町 2-28 (水戸屋ビル 4 階)	1704
千 葉	〒 260-0025	千葉市中央区問屋町 1-35 (千葉ポートサイドタワー 22 階)	1702
秋葉原	〒 101-0021	千代田区外神田 3-14-10 (秋葉原H F ビル 3 階)	1801
秋葉原	〒 101-0032	千代田区岩本町 2-16-12	1812
東陽町	〒 135-0016	江東区東陽 2-2-4 (丸藤ビル 5 階)	1803
浜松町	〒 105-0013	港区浜松町 1-5-1 (F s a s サポートセンタービル 1 階)	1804
池 袋	〒 170-6032	豊島区東池袋 3-1-1 (サンシャイン 60 32 階)	1806
池 袋	〒 114-0023	北区滝野川 7-18-1 (A P T O ビル 2 階)	1813
新 橋	〒 105-0004	港区新橋 4-11-1 (T K 新橋ビル 6 階)	1814
新 宿	〒 163-0707	新宿区西新宿 2-7-1 (新宿第一生命ビル 7 階)	1807
新 宿	〒 160-0023	新宿区西新宿 1-19-5 (第二明宝ビル 8 階)	1815
立 川	〒 190-0012	立川市曙町 2-22-20 (立川センタービル 11 階)	1810
立 川	〒 190-0022	立川市錦町 1-8-13 (市川ビル 2 階)	1816
川 崎	〒 210-0005	川崎市川崎区東田町 8 (パレール三井ビル 1 階)	1901
横 浜	〒 220-8128	横浜市西区みなとみらい 2-2-1-1 (横浜ランドマークタワー 28 階)	1902
横 浜	〒 220-0023	横浜市西区平沼 1-7-10 (Y S K ビル 1 階)	1906
小田原	〒 250-0011	小田原市栄町 2-7-36 (エーワビル 3 階)	1904
厚 木	〒 243-0018	厚木市中町 2-7-6 (L G ビル 1 階)	1905
厚 木	〒 243-0018	厚木市中町 4-1-10 (朝日生命厚木ビル 6 階)	1907
山 梨	〒 400-0858	甲府市相生 1-4-23 (日本火災鮎川ビル 7 階)	2001

付録・詳しい内容

地区名	郵便番号	所在地	資料No
静岡	〒422-8067	静岡市南町 18-1 (サウスポット静岡 9 階)	2101
静岡	〒420-0837	静岡市日出町 2-1 (田中産商第一生命共同ビル 1 階)	2104
浜松	〒430-0931	浜松市神明町 315-1 (浜松しみずビル 5 階)	2102
沼津	〒410-0801	沼津市大手町 3-8-25 (清水銀行・大同生命ビル 8 階)	2103
沼津	〒410-0056	沼津市高島町 3-4 (加藤ビル 3 階)	2105
名古屋	〒460-0008	名古屋市中区栄 2-3-1 (名古屋広小路ビル 1 階)	2201
名古屋	〒460-0011	名古屋市中区大須 3-33-16	2205
岡崎	〒444-0864	岡崎市明大寺町字出口 14 (杉林ビル 3 階)	2206
豊田	〒471-0833	豊田市山之手 4-46 (三井海上豊田ビル 4 階)	2202
豊橋	〒440-0881	豊橋市広小路 3-91 (千代田生命豊橋ビル 5 階)	2203
刈谷	〒448-0027	刈谷市相生町 1-31 (第 5 セントラルビル 1 階)	2204
岐阜	〒500-8856	岐阜市橋本町 2-8 (濃飛ニッセイビル 8 階)	2301
岐阜	〒500-8167	岐阜市東金宝町 1-16 (メゾンド クマダ 3 階)	2304
高山	〒506-0009	高山市花岡町 2-55-9 (飛騨ビル 2 階)	2302
多治見	〒507-0032	多治見市大日町 50-1 (ヤマセビル 1 階)	2303
三重	〒514-0009	津市羽所町 375 (百五明生ビル 5 階)	2401
四日市	〒510-0067	四日市市浜田町 5-27 (第 3 加藤ビル 3 階)	2402
四日市	〒510-0075	四日市市安島 1-6-14 (ラ・テラビル 2 階)	2403
滋賀	〒520-0043	大津市中央 2-2-6 (明治生命大津ビル 7 階)	2501
滋賀	〒520-0044	大津市京町 4-5-13 (澤甚第 1 ビル 2 階)	2503
近江八幡	〒523-0891	近江八幡市鷹飼町 562 (近江八幡第一ビル 4 階)	2502
奈良	〒630-8115	奈良市大宮町 1-1-15 (ニッセイ奈良駅前ビル 4 階)	2601
京都	〒604-8171	京都市中京区烏丸通御池下ル虎屋町 566-1 (井門明治生命ビル 7 階)	2701
堂島	〒530-0004	大阪市北区堂島浜 2-1-29 (古河大阪ビル 1 階)	2801
新大阪	〒532-0011	大阪市淀川区西中島 5-5-15 (住友生命新大阪ビル 4 階)	2810
堺	〒590-0076	堺市北瓦町 2-4-18 (大和銀行堺ビル 3 階)	2804
日本橋	〒556-0005	大阪市浪速区日本橋 4-2-15 (パ・ク日本橋 3 階)	2811
尼崎	〒660-0861	尼崎市御園町 5 (土井ビル 4 階)	2805
尼崎	〒660-0881	尼崎市昭和通 4-117 (安田生命尼崎ビル 4 階)	2812
守口	〒570-0056	守口市寺内町 2-7-27 (富士火災守口ビル 7 階)	2808
守口	〒570-0083	守口市京阪本通 1-3-7 (日本生命守口ビル 2 階)	2813
和歌山	〒640-8341	和歌山市黒田 84-1 (阪和第一ビル 8 階)	2901
和歌山	〒640-8331	和歌山市美園町 2-1 (太陽生命第二ビル 4 階)	2902
神戸	〒650-0044	神戸市中央区東川崎町 1-7-4 (ハーバーランドダイヤニッセイビル 16 階)	3001
姫路	〒670-0962	姫路市南駅前町 100 (パラシオ第 2 ビル 6 階)	3003
高松	〒760-0023	高松市寿町 2-4-20 (千代田生命高松ビル 5 階)	3101
高松	〒760-0018	高松市天神前 10-12 (香川天神前ビル 7 階)	3102
徳島	〒770-0939	徳島市かちどき橋 2-29-1 (徳島伊予ビル 4 階)	3201
高知	〒780-0870	高知市本町 4-2-44 (朝日生命高知ビル 5 階)	3301
松山	〒790-0003	松山市三番町 6-3-4 (松山パルビル 6 階)	3401
松山	〒790-0022	松山市永代町 13 (松山第二電気ビル 5 階)	3402

地区名	郵便番号	所在地	資料No
鳥 取	〒 680-0834	鳥取市永楽温泉町 271 (朝日生命鳥取ビル 4 階)	3501
松 江	〒 690-0823	松江市西川津町 3577 (タイムプラザビル 2 階)	3601
岡 山	〒 700-0826	岡山市磨屋町 10-12 (交通オアシスビル 2 階)	3701
広 島	〒 732-0814	広島市南区段原南 1-3-53 (広島イーストビル 12 階)	3801
広 島	〒 730-0032	広島市中区立町 2-27 (大和広島ビル 12 階)	3803
福 山	〒 720-0065	福山市東桜町 1-21 (エストパルク 7 階)	3802
宇 部	〒 755-0042	宇部市松島町 18-10 (太陽生命宇部ビル 4 階)	3901
福 岡	〒 812-0013	福岡市博多区博多駅東 2-2-2 (博多東ハニービル 1 階)	4001
北九州	〒 802-0003	北九州市小倉北区米町 2-2-1 (新小倉ビル 2 階)	4002
久留米	〒 830-0032	久留米市東町 35-3 (昭光ビル 6 階)	4003
長 崎	〒 850-0033	長崎市万才町 4-15 (日本生命長崎ビル新館 7 階)	4101
佐 賀	〒 840-0801	佐賀市駅前中央 1-5-10 (朝日生命佐賀駅前ビル 6 階)	4201
大 分	〒 870-0037	大分市東春日町 17-58 (富士通大分システムラボラトリ 5 階)	4301
熊 本	〒 860-0012	熊本市紺屋今町 9-6 (熊本紺屋今町ビル 8 階)	4401
宮 崎	〒 880-0812	宮崎市高千穂通 1-6-38 (ニッセイ宮崎ビル 8 階)	4501
鹿児島	〒 892-0844	鹿児島市山之口町 1-10 (鹿児島中央ビル 9 階)	4601
沖 縄	〒 900-0015	那覇市久茂地 1-12-12 (ニッセイ那覇センタービル 10 階)	4701

お問い合わせチェックシート

お問い合わせの内容によっては以下の情報が必要になります。お問い合わせになる前に、該当する項目にご記入ください。

プリンタの環境

機種名	製造番号
購入月： 年 月	➡ プリンタの背面と保証書に記載してあります
プリンタケーブル名：	メーカー名：

ホストコンピュータの環境

パソコンメーカー / 機種名：

メモリ容量：	MB	ハードディスク容量：	MB
拡張オプション(ボード)：	なし	・ 利用 (メーカー名：)
		(メーカー名：)
		(メーカー名：)

オペレーションシステム

Windows バージョン：	メーカー名：
その他の OS：	メーカー名：

プリンタドライバ

プリンタドライバ名：	バージョン：
------------	--------

アプリケーションソフト

アプリケーションソフト名：	バージョン：
使用フォント名：	

ページプリンタ XL-1200

取扱説明書

B1WY-4451-02-01

発 行 日 2000年4月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Thailand

本書の一部または全部を無断で他に転載しないよう、お願いいたします。
本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、
侵害については、当社はその責を負いません。
落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

FUJITSU